

▲京都大学通則

昭和28年4月7日

達示第3号制定

第1章 学年

第1条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第2条 学期は、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第3条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。

日曜日

土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

創立記念日 6月18日

夏季休業 8月6日から9月30日まで

冬季休業 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育上の必要があると認めるときは、夏季休業及び冬季休業の期間を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

3 前2項の規定にかかわらず、教育上の必要があると認めるときは、定期休業日に授業を行うことができる。

4 前2項の規定の実施に関し必要な事項については、総長が別に定める。

第2章 学部

第3条の2 本学の学部及び学科並びにその学生定員は、別表第1に掲げるとおりとする。

第3条の3 前条の学部においては、当該学部の定めるところにより、学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

第4条 入学は、学年の初め1回とする。ただし、特別の必要があると認めるときは、当該学部の定めるところにより、学期の初めにも入学させることができる。

2 入学の手続は、当該学部の定めるところによる。

第5条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 中等教育学校を卒業した者

(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(4) 通常の課程以外の課程により前号に相当する学校教育を修了した者

(5) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(10) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程に2年以上在学した者であつて、本学において、本学が教育研究を行つている学問分野における傑出した能力を有すると認めたもの

(11) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

2 前項第10号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は、当該学部の定めるところによる。

第6条 入学志望者に対しては、試験を行う。

2 試験は、当該学部の定めるところによる。

第7条 次の各号の一に該当する者は、前条の規定にかかわらず選考のうえ、入学を許可するこ

とがある。

- (1) 一の学部を卒業した者が、他の学部又は同一学部の他の学科に入学を志望するとき。
- (2) 中途退学をした者が同一学部に入學を志望するとき。
- (3) 他の大学又は専門職大学の学部を卒業した者

2 前項に規定するもののほか、編入学については、当該学部の定めるところによる。

第8条 本学の他学部へ転学を志望し、又は他の大学若しくは専門職大学から本学へ転学を志望する者は、欠員のある場合に限り、当該学部の定めるところにより許可することがある。

第9条 入学志望者は、所定の期日までに、願書を学部長あてに提出しなければならない。

第10条 入学志望者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文科大臣裁定。以下「実施要項」という。）第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、検定料の納付を要しない。

3 受理した検定料は、返還しない。ただし、京都大学における学生納付金に関する規程（平成16年達示第63号。第67条において「学納金規程」という。）に定めるものについては、この限りでない。

第11条 入学志望者には、健康診断を行う。

第12条 入学に際しては、所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。

2 入学料を納めない者には、入学を許可しない。ただし、次項の規定による手続をとった者については、この限りでない。

3 第1項の規定にかかわらず、特別の事由のある者については、別に定める京都大学授業料、入学料免除等規程（昭和53年達示第5号。以下「免除等規程」という。）による。

4 前項の規定による手続をとった者が入学料全額の免除若しくは入学料の徴収猶予をされなかった場合又は入学料の徴収猶予をされた場合において、免除等規程の定めるところにより所定の期日までに納めるべき入学料を納めないときは、学生の身分を失う。

5 第1項の規定にかかわらず、第37条第1項第9号、第3項第7号又は第53条の3第9号の規定により本学大学院に入学し、課程を修了した者が、当該入学前に在学した学部へ再入学するときは、入学料の納付を要しない。

6 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、入学料の納付を要しない。

7 受理した入学料は、返還しない。ただし、所定の入学手続期間内に入学を辞退し、かつ、申し出た者については、この限りでない。

第13条 入学を許可された者は、本学の定めた方式によつて宣誓を行うものとする。

第14条 除籍された者が、再入学を願い出たときは、除籍された日から3年以内に限り、学部長の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が許可することがある。

第15条 教育課程は、教育上の目的を達成するために必要な科目を開設して、体系的に編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、学部及び学科の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第16条 科目の区分は、開講対象による区分として全学共通科目及び学部科目とし、教育目的・内容による区分として教養科目及び専門科目とする。

第17条 科目の単位数の計算の基準については、別に定める。

第17条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業の一部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第18条 科目、授業、修業年限及び在学年限は、当該学部の定めるところによる。

2 前項の場合において、学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

第18条の2 授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行うものとする。

第18条の3 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、当該学部の定めるところにより、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めるものとする。

2 特に学業優秀と認めた学生その他特別の必要があると認めた学生については、当該学部の定めるところにより、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

第19条 学生は、他学部の科目を履修することができる。ただし、この場合は、所属学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

第20条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、他の大学、専門職大学又は短期大学と協議のうえ、学生に、その科目を履修することを許可することがある。

2 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）又は短期大学と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学又は短期大学に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

3 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生に、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することがある。

4 第2項に定めるもののほか、教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、審査のうえ、学生に、休学し、又は休学することなく外国の大学又は短期大学に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

5 前各項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該学部の定めるところにより、60単位を超えない範囲で、本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第21条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることができる単位数は、前条第5項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第22条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修した科目について修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条第1項又は第2項に定める科目等履修生又は特別の課程履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における科目の学修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第20条第5項の規定により修得したものとみなす単位数及び前条第1項の規定により与えることができる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 第1項に定めるもののうち、学生が本学の科目等履修生又は特別の課程履修生として修得した単位（大学、専門職大学又は短期大学の学生として修得した単位を除く。）を本学に入学した後に修得したものとみなすときは、その単位数、修得に要した期間その他当該学部が必要と認める事項を勘案して当該学部が認める期間は、第18条の修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、当該修業年限の2分の1を超えることができない。

第23条 疾病その他の事由により、3月以上修学を中止しようとするときは、所属学部長の許可を得て、休学することができる。

2 前項の規定にかかわらず、医学部及び薬学部が定める特別な課程を履修する医学部学生及び薬学部学生が、第37条第3項第7号の規定により、医学研究科及び薬学研究科に入学するときは、当該学部長の許可を得て、休学することができる。

3 疾病のため、修学が不適当と認められる者に対しては、学部長は、総長の許可を得て、休学を命ずることができる。

4 休学は、通算4年を超えることができない。ただし、第2項の規定により休学するときは、その期間を通算しない。

5 休学期間内に復学しようとするときは、その旨届け出なければならない。

6 休学期間は、在学年に算入しない。

第24条 学生が退学しようとするときは、その事由を申し出て、総長の許可を受けなければならない。

第25条 次の場合には、学部長の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が除籍する。

(1) 疾病その他の事由により成業の見込みがない者

(2) 授業料納付の義務を怠る者

第26条 試験は、当該学部定めるところにより行う。

第27条 卒業の要件は、学部所定の期間在学し、学部所定の卒業に必要な単位数を修得し、学士試験に合格することとする。

2 前項の規定による卒業に必要な単位のうち、第17条の2第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

第27条の2 学部においては、学生に対して、前条第1項の学士試験及び学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第28条 授業料は、年額を次の2期に分けて、所定の期日までに納めなければならない。ただし、第2期に係る授業料については、学生が申し出た場合、当該年度の第1期に係る授業料を納めるときに納めるものとする。

第1期 4月から9月まで 年額の2分の1に相当する額

第2期 10月から3月まで 年額の2分の1に相当する額

2 前項の規定にかかわらず、特別の事由がある者については、別に定める免除等規程による。

3 前2項に定めるもののほか、授業料の免除に関し必要な事項は、別に定める。

4 第1項本文の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

5 受理した授業料は、返還しない。ただし、受理した授業料のうち、免除等規程第2条第1項、第3項、第4項又は第5項の規定により免除した授業料は、返還する。

第29条 休学中は、別に定める免除等規程により授業料を免除する。

第30条 停学を命ぜられた者は、その期間中であつても授業料を納付しなければならない。

第31条 学生は、別に定める学生票の交付を受け、常に携帯しなければならない。

第32条 学生の本分を守らない者があるときは、総長は懲戒する。

2 前項に規定する懲戒の必要がない学生についても、当該学生の所属する学部長が必要と認めたときは、当該学部長が、嚴重注意その他の教育的措置を行うことができる。

3 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第33条 懲戒の種類は、次のとおりとする。

(1) 譴責

(2) 停学

(3) 放学

第34条 停学3月以上にわたるときは、その期間は、在学年に算入しない。

第3章 大学院

第35条 本学大学院の研究科等及び専攻並びにその学生定員は、別表第2に掲げるとおりとする。

第35条の2 前条の研究科等においては、当該研究科等の定めるところにより、研究科等又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

第36条 研究科（総合生存学館、地球環境学舎及び経営管理教育部を含む。以下同じ。）に博士課程を置く。

2 博士課程の標準修業年限は、5年とする。ただし、医学研究科医学専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程の標準修業年限は、4年とする。

3 博士課程（前項ただし書の博士課程を除く。）は、前期2年の課程及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、これを修士課程として取り扱う。

- 4 文学研究科京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻及び経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻の博士課程は、前期2年の国際連携専攻（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第35条第1項の規定による外国の大学院と連携して教育研究を実施するための専攻をいう。以下同じ。）の課程とし、医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の博士課程は、4年の国際連携専攻の課程とする。
 - 5 医学研究科社会健康医学系専攻、地球環境学舎地球環境学専攻及び経営管理教育部経営科学専攻の博士課程は、後期3年の課程とする。
 - 6 第3項の規定にかかわらず、薬学研究科創発医薬科学専攻、アジア・アフリカ地域研究研究科及び総合生存学館の博士課程は、課程の区分を設けない。
 - 7 第3項の前期2年及び後期3年の課程並びに前項の課程は、それぞれ「修士課程」及び「博士後期課程」並びに「一貫制博士課程」という。
 - 8 学生で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを志望する者には、当該研究科の定めるところにより、その計画的な履修（第49条第5項、第50条第7項及び第53条の12第3項において「長期履修」という。）を許可することがある。
- 第36条の2 入学は、学年の初め1回とする。ただし、特別の必要があると認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学期の初めにも入学させることができる。
- 2 前項に定めるもののほか、前条第4項に定める経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻及び医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の入学時期は、当該研究科の定めるところによる。
 - 3 入学の手続は、当該研究科の定めるところによる。
- 第37条 修士課程及び一貫制博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。
- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
 - (9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であつて、本学において、所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めた者
 - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。
 - (1) 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者
 - (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士

課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者

- (4) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者
 - (5) 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項の規定によるものをいう。次号において同じ。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であつて、本学において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 医学研究科及び薬学研究科の博士課程（医学研究科医学専攻、医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程に限る。以下同じ。）に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。
- (1) 大学における医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限が6年であるものに限る。）を修了した者
 - (2) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 大学における医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限が6年であるものに限る。）に4年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であつて、本学において、所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めた者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 4 第1項第9号及び第10号並びに第2項第6号及び第8号並びに前項第7号及び第8号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は、当該研究科の定めるところによる。
- 第38条 入学志望者に対しては、試験を行う。
- 2 試験は、当該研究科の定めるところによる。
- 第39条 次の各号の一に該当する者は、前条の規定にかかわらず、選考のうえ、入学を許可することができる。
- (1) 第37条第2項各号の一に該当する資格を有する者が、一貫制博士課程（アジア・アフリカ地域研究研究科に限る。）における博士後期課程の第1年次に相当する年次に入学を志望するとき。
 - (2) 中途退学した者が、同一研究科に入学を志望するとき。
- 第40条 本学大学院の他研究科に転科（地球環境学舎及び経営管理教育部にあつては転部）を志望し、又は他の大学若しくは専門職大学の大学院から本学大学院に転学を志望する者は、欠

員のある場合に限り、当該研究科の定めるところにより、許可することがある。

- 2 同一研究科内における転専攻については、当該研究科の定めるところによる。
- 第41条 除籍された者が再入学を願い出たときは、除籍された日から3年以内に限り、研究科長（総合生存学館長、地球環境学舎長及び経営管理教育部長を含む。以下同じ。）の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が許可することがある。
- 第42条 入学志望者は、所定の期日までに、願書を研究科長あてに提出しなければならない。
- 第42条の2 入学志望者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生及び実施要項第4条第2号の推薦による入学志望者は、検定料の納付を要しない。
 - 3 前項に定めるもののほか、本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定（相互に正規学生を受け入れるもので、その数並びに検定料、入学料及び授業料の相互不徴収並びに有効期間が記されているものに限る。以下同じ。）に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる当該連携して教育研究を実施する外国の大学院（以下「連携外国大学院」という。）の学生（経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻の学生を含む。以下同じ。）は、検定料の納付を要しない。
- 第42条の3 入学に際しては、所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生及び実施要項第4条第2号又は第4号の推薦により、前項の期間までにその採用が決定している者は、入学料の納付を要しない。
 - 3 前項に定めるもののほか、本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる連携外国大学院の学生は、入学料の納付を要しない。
- 第42条の4 教育課程は、教育上の目的を達成するために必要な科目を開設するとともに研究指導の計画を策定して、体系的に編成するものとする。
- 2 教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。
 - 3 国際連携専攻の教育課程の編成に当たっては、当該連携外国大学院が開設する科目を本学大学院の教育課程の一部とみなして当該連携外国大学院と連携した教育課程（以下「国際連携教育課程」という。）を編成し、又は当該連携外国大学院と共同して科目を開設することができる。
- 第42条の5 科目の区分は、大学院共通科目及び研究科科目とする。
- 第42条の6 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 - 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
 - 4 第1項の授業の一部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 第43条 科目、その授業及び研究指導は、当該研究科の定めるところによる。
- 2 前項の場合において、研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。
 - 3 当該研究科において必要と認めたときは、学部若しくは他の研究科等（研究科又は公共政策教育部をいう。以下同じ。）の科目を履修させ、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程若しくは医学研究科及び薬学研究科の博士課程の単位とし、又は他の研究科において研究指導を受けさせ、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程若しくは医学研究科及び薬学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。
 - 4 第42条の4第3項の規定による連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位又は連携外国大学院において受けた国際連携教育課程に係る研究指導は、

本学大学院における国際連携教育課程に係る科目の履修により修得し、又は当該国際連携教育課程に係るものとみなすものとする。

- 5 第42条の4第3項の規定による連携外国大学院と共同して開設する科目の履修により修得した単位は、5単位を超えない範囲で、本学大学院又は当該連携外国大学院のいずれかにおいて修得したものとすることができる。ただし、第49条第2項の規定により連携外国大学院において修得することとしている単位数に満たない場合は、当該単位を連携外国大学院において修得した単位とすることはできない。

第43条の2 授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行うものとする。

第43条の3 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことができる。

第44条 学生は、他の研究科等の科目を履修し、又は他の研究科において研究指導を受けることができる。ただし、この場合所属の研究科及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位並びに前項の規定により受けた研究指導の取扱いについては、当該研究科の定めるところによる。

第45条 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、他の大学又は専門職大学と協議のうえ、学生に、当該他の大学又は専門職大学の大学院の科目を履修することを許可することがある。

- 2 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

- 3 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学生に、外国の大学の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することがある。

- 4 第2項に定めるもののほか、教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、審査のうえ、学生に、休学し、又は休学することなく外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

- 5 前各項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該研究科の定めるところにより、15単位を超えない範囲で、本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第46条 学生で、他の大学若しくは専門職大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け、又は休学することなく外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院若しくは研究所等に留学し、研究指導を受けることを志望するものには、それぞれ前条第1項又は第2項に定めるものと同様の要件及び手続により、これを許可することがある。ただし、修士課程及び一貫制博士課程の修士課程に相当する年次の学生について許可する場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

- 2 前項の規定により受けた研究指導は、当該研究科の定めるところにより、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程又は医学研究科及び薬学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。

第46条の2 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学生が本学大学院に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位（大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準第31条第1項に定める科目等履修生又は同条第2項に定める特別の課程履修生（履修資格を有する者が、学校教育法第102条第1項の規定により大学院に入学することができる者である特別の課程を、履修した者に限る。）として修得した単位を含む。）を、本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、本学大学院において修得した単位以外のものについては、15単位を超えないものとし、第45条第5項の規定により本学大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

- 3 第1項の規定により本学大学院に入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第1項

の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を本学大学院において修得したものとみなす場合であって、当該単位の修得により本学大学院の修士課程、博士課程(博士後期課程を除く。)又は一貫制博士課程の教育課程の一部を履修したと認めるとき(修士課程を修了した者が一貫制博士課程に入学し、第50条第2項ただし書の規定により、当該修士課程における在学期間を当該一貫制博士課程における在学期間に含むときを除く。)は、その単位数、修得に要した期間その他当該研究科が必要と認める事項を勘案して当該研究科が認める期間は、1年を超えない範囲で、当該研究科の課程に在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、修士課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

第47条 疾病その他の事由により、3月以上修学を中止しようとするときは、研究科長の許可を得て、休学することができる。

2 疾病のため、修学が不適当と認められる者に対しては、研究科長は、総長の許可を得て、休学を命ずることができる。

3 休学は、修士、博士後期の各課程、一貫制博士課程並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程において、それぞれ通算3年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者に対し、一貫制博士課程においては、なお、2年以内の、医学研究科及び薬学研究科の博士課程においては、なお、1年以内の休学を許可することができる。

第48条 試験及び研究指導の認定方法は、当該研究科の定めるところによる。

第49条 修士課程の修了の要件は、同課程に2年以上在学して、研究指導を受け、専攻科目につき30単位以上を修得し、かつ、当該研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間については、当該研究科の定めるところにより、優れた研究業績を挙げた者について、同課程に1年以上の在学をもつて足りるものとすることができる。

2 前項に定めるもののほか、国際連携専攻の修士課程の修了の要件は、本学大学院において当該国際連携専攻の教育課程に係る科目の履修により15単位以上を修得し、かつ、当該連携外国大学院において国際連携教育課程に係るものとして開設する授業科目の履修により10単位以上を修得することとする。

3 前項の規定により本学大学院において修得する単位数には、第43条第4項の規定により当該国際連携教育課程に係る科目の履修により修得したものとみなす連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位を含まないものとする。

4 第2項の規定により本学大学院又は連携外国大学院において修得する単位数には、第45条第5項の規定により本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす他の大学若しくは専門職大学の大学院又は外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。)の大学院における科目の履修により修得した単位及び第46条の2第1項の規定により本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす本学大学院に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位を含まないものとする。ただし、連携外国大学院に入学した学生が国際連携教育課程を履修するために本学大学院に入学する場合において、本学大学院に入学する前に当該連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位のうち、第46条の2第1項の規定により本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす単位は、連携外国大学院において修得する単位数に含むことができる。

5 在学年限は、4年を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。

第50条 博士後期課程の修了の要件は、同課程に3年(専門職大学院設置基準(平成15年文部科学省令第16号)第18条第1項の法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年)以上在学して、研究指導を受け、かつ、当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

2 一貫制博士課程の修了の要件は、同課程に5年以上在学して専攻科目につき30単位以上修得し、研究指導を受け、かつ、当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、修士課程(標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程を除く。以下この項において同じ。)に2年(2年を超える標準修業年限を定める修士課程にあつては、当該標準修業年限。以下この項において同じ。)以上在学し、当該課程を修了後、一貫制博士課程に入学した者にあつては、当該一貫制博士課程における在学期間に当該修士課程における2年の在

学期間を含むことができる。

- 3 前2項に規定するもののほか、当該研究科において必要と認めたときは、専攻科目につき当該研究科の定める単位の修得を博士後期課程又は一貫制博士課程の修了の要件に加えることができる。
- 4 医学研究科医学専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程の修了の要件は、同課程に4年以上在学して専攻科目につき30単位以上修得し、研究指導を受け、かつ、当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。
- 5 前項に定めるもののほか、国際連携専攻の博士課程の修了の要件は、第49条第2項から第4項までの規定を準用する。この場合において、第49条第2項の規定中「修士課程」とあるのは「博士課程」と読み替える。
- 6 第1項、第2項及び第4項の在学期間については、当該研究科の定めるところにより、優れた研究業績を挙げた者について、それぞれ博士後期課程にあつては1年（修士課程又は専門職学位課程の修了の要件を満たした者で、大学院における在学期間が2年未満のものにあつては、その在学期間を含めて3年）以上の、一貫制博士課程にあつては3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含めて3年）以上の、医学研究科及び薬学研究科の博士課程にあつては3年以上の在学をもつて足りるものとする。
- 7 在学年限は、博士後期課程及び医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻においては6年を、一貫制博士課程においては10年を、医学研究科医学専攻及び薬学研究科の博士課程においては8年を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。

第50条の2 研究科においては、学生に対して、第49条第1項並びに前条第1項、第2項及び第4項の論文の審査及び試験に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第51条 授業料は、年額を次の2期に分けて、所定の期日に納めなければならない。

第1期 4月から9月まで 年額の2分の1に相当する額

第2期 10月から3月まで 年額の2分の1に相当する額

- 2 前項の規定にかかわらず、本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる連携外国大学院の学生は、授業料の納付を要しない。

第52条 休学中は、別に定める免除等規程により授業料を免除する。

第53条 第10条第3項、第11条、第12条第2項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第17条、第23条第5項及び第6項ないし第25条、第28条第1項ただし書及び第2項ないし第4項、第30条ないし第34条の規定は、大学院学生の場合に準用する。この場合において、第25条及び第32条第2項中「学部長」とあるのは「研究科長」と読み替えるものとする。

第3章の2 専門職大学院

第53条の2 第36条に定めるもののほか、法学研究科、医学研究科、公共政策教育部及び経営管理教育部に専門職学位課程を置き、これを専門職大学院とする。

- 2 前項の専門職大学院は、法学研究科の専門職学位課程に関し、これを法科大学院とする。
- 3 専門職学位課程（法科大学院の課程を除く。）の標準修業年限は、2年とする。ただし、教育上の必要があると認めるときは、医学研究科又は経営管理教育部の定めるところにより、1年以上2年未満の期間とすることができる。
- 4 法科大学院の課程の標準修業年限は、3年とする。
- 5 専門職大学院である法学研究科、医学研究科、公共政策教育部及び経営管理教育部の専攻及びその学生定員は、別表第2に掲げるとおりとする。
- 6 前項の研究科及び教育部においては、当該研究科又は教育部の定めるところにより、研究科若しくは教育部又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

第53条の3 専門職学位課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
 - (9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であつて、本学において、所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めたもの（当該単位の修得の状況及び法科大学院が当該法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有するかどうかを判定するために実施する試験の結果に基づき、これと同等以上の能力及び資質を有すると認めたものを含む。）
 - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 前項第9号及び第10号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は、当該法学研究科、医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部（以下第53条の15までにおいて「研究科又は教育部」という。）の定めるところによる。
- 第53条の4 教育課程は、教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な科目を開設して、体系的に編成するものとする。
- 第53条の4の2 科目の区分は、大学院共通科目及び専門職大学院科目とする。
- 第53条の4の3 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 専門職大学院においては、その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究、現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うなど適切に配慮しなければならない。
- 3 第1項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 前項の規定により多様なメディアを高度に利用して授業を行う教室等以外の場所で履修させることは、これによって十分な教育効果が得られる専攻分野に関して、当該効果が認められる授業について、行うことができるものとする。
- 5 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 6 第1項の授業の一部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 第53条の5 科目及び授業は、当該研究科又は教育部の定めるところによる。
- 2 前項の場合において、研究科又は教育部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 3 当該研究科又は教育部において必要と認めたときは、学部又は他の研究科等の科目を履修さ

せ、専門職学位課程の単位とすることができる。

第53条の6 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、当該研究科又は教育部の定めるところにより、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものとする。

2 当該研究科又は教育部において必要と認めるときは、学生が各年次において履修し、修得すべき授業科目、単位数その他上位の年次に進級させる基準並びに同一年次において在学することができる年限を定めることができる。

第53条の7 学生は、他の研究科等の科目を履修することができる。ただし、この場合所属の研究科又は教育部及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。

2 前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位の取扱いについては、当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第53条の8 教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、他の大学又は専門職大学と協議のうえ、学生に、当該他の大学又は専門職大学の大学院の科目を履修することを許可することがある。

2 教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

3 前項に定めるもののほか、教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、審査のうえ、学生に、休学し、又は休学することなく外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

4 前3項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該研究科又は教育部の定めるところにより、医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の2分の1を超えない範囲で、法学研究科にあつては30単位を超えない範囲で、当該専門職大学院又は法科大学院（以下「専門職大学院等」という。）における科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、法学研究科において、93単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は、そのを超える部分の単位数に限り30単位を超えてみなすことができる。

第53条の9 教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、学生が当該専門職大学院等に入学する前に大学院又は専門職大学院において履修した科目について修得した単位（大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準第31条第1項に定める科目等履修生又は同条第2項、専門職大学院設置基準第13条の2第1項若しくは同基準第21条の2第1項に定める特別の課程履修生として修得した単位を含む。）を、当該専門職大学院等に入学した後の当該専門職大学院等における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、当該専門職大学院等において修得した単位以外のものについては、前条第4項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて、医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の2分の1を超えないものとし、法学研究科にあつては30単位（前条第4項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。）を超えないものとする。ただし、専門職大学院設置基準第20条の7第6号にいう認定連携法曹基礎課程（以下「認定連携法曹基礎課程」という。）を修了して法科大学院に入学した者又はこれらの者と同等の学識を有すると当該法科大学院が認める者がその入学前に当該法科大学院以外の専門職大学院設置基準第20条の7第6号にいう認定連携法科大学院において履修した授業科目について修得した単位については、前条第4項の規定により当該法科大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて46単位（同条第4項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。）を超えない範囲で修得したものとみなすことができるものとする。

第53条の10 休学は、通算3年を超えることができない。

第53条の11 試験は、当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第53条の12 専門職学位課程（法科大学院の課程を除く。）の修了の要件は、同課程に2年（第53条の2第3項ただし書の規定により標準修業年限を1年以上2年未満の期間とする場

合にあつては、当該期間)以上在学し、専攻科目につき医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部が定める30単位以上の修得その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。この場合において、単位の修得以外の教育課程の履修を課すときは、当該履修の方法及びその学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ学生に対し明示するものとする。

2 法科大学院の課程の修了の要件は、同課程に3年以上在学し、法学研究科が定める93単位以上を修得することとする。

3 在学年限は、4年(法科大学院にあつては6年)を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。ただし、第53条の6第2項の規定により当該研究科又は教育部において同一年次に在学する年限を定めるときは、当該年限を超えることができない。

第53条の13 第53条の9第1項の規定により当該専門職大学院等に入学する前に修得した単位(学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を当該専門職大学院等において修得したものとみなす場合であつて当該単位の修得により当該専門職大学院等の教育課程の一部を履修したと認めるときは、その単位数、修得に要した期間その他当該研究科又は教育部が必要と認める事項を勘案して当該研究科又は教育部が認める期間は、1年を超えない範囲で、当該専門職大学院等の課程に在学したものとみなすことができる。ただし、第53条の2第3項ただし書の規定により1年以上2年未満の期間を標準修業年限とする場合において、当該専門職大学院の課程に在学したものとみなすことができる期間は、当該1年以上2年未満の期間から1年を減じた期間を超えることができない。

第53条の14 第53条の12第2項に定めるもののうち、法学研究科の定めるところにより、当該法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認める者(以下本条において「法学既修者」という。)に関しては、在学期間については1年を超えない範囲で当該法科大学院の課程に在学し、単位(法学研究科が定める必修科目の単位を含む。)については30単位を超えない範囲で当該法科大学院が認める単位を修得したものとみなすことができる。ただし、法学研究科において、93単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は、その超える部分の単位数に限り30単位を超えてみなすことができる。

2 前項の規定により法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間は、前条の規定により在学したものとみなす期間と合わせて1年を超えないものとする。

3 第1項の規定により法学既修者について修得したものとみなすことのできる単位数(第1項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。)は、第53条の8第4項及び第53条の9第1項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位(第53条の8第4項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。)を超えないものとする。

4 認定連携法曹基礎課程を修了して法科大学院に入学した者又はこれらの者と同等の学識を有すると当該法科大学院が認める者に関する第1項及び前項の規定の適用については、第1項中「30単位」とあるのは「46単位」と、前項中「第1項ただし書の規定により30単位」とあるのは「第1項ただし書の規定により46単位」と、「合わせて30単位」とあるのは「合わせて46単位」とする。

第53条の15 第10条第3項、第11条、第12条第2項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第17条、第18条の2、第23条第5項及び第6項ないし第25条、第28条第1項ただし書及び第2項ないし第4項、第30条ないし第34条、第36条第8項、第36条の2、第38条、第39条(第2号の場合に限る。)、第40条ないし第42条の3、第47条第1項及び第2項、第51条及び第52条の規定は、専門職大学院等学生の場合に準用する(法科大学院にあつては、第42条の2第3項、第42条の3第3項及び第51条第2項を除く。)。この場合において、第25条及び第32条第2項中「学部長」とあるのは「法学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と、第36条第8項、第36条の2、第38条第2項及び第39条(第2号の場合に限る。)中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と、第40条第1項中「研究科に転科(地球環境学舎及び経営管理教育部にあつては転部)」とあるのは「研究科又は教育部に、それぞれ、転科若しくは転部」と、「当該研究科」とあるのは「当該研究科又は教育部」と、同条第2項中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と、第41条中「研究科長(総合生存学館長、地球環境学舎長及び経営管理教育部長を含む。以下同じ。)」とあるのは「法学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と、第42条並びに第47条第1項及び第2項中「研究科長」とあるのは「法

学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と読み替えるものとする。

第4章 学位

第54条 学士試験に合格した者には、学士の学位を授与する。

第55条 修士課程を修了した者には、修士の学位を授与する。

2 前項に規定するもののほか、一貫制博士課程において、第49条第1項に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも、修士の学位を授与することができる。

第55条の2 専門職学位課程（法科大学院の課程を除く。）を修了した者には、修士（専門職）の学位を授与する。

2 法科大学院の課程を修了した者には、法務博士（専門職）の学位を授与する。

第56条 博士後期課程を修了した者、一貫制博士課程を修了した者並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程を修了した者には、博士の学位を授与する。

第57条 前条に規定するもののほか、別に定めるところにより博士の学位の授与を申請して、博士論文の審査及び試験に合格し、かつ、学識の確認を経た者にも、前条と同様の学位を授与する。

第58条 この章に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 外国学生、委託生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、特別研究学生、特別交流学生等

第59条 外国人で第5条及び第37条によらないで学部又は大学院に入学しようとする者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、外国学生として入学を許可することがある。

2 外国学生で学部又は大学院の課程を修了した者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより学位を授与する。

第60条 公の機関又は団体等から、その所属の職員につき、学修科目を定め、学部又は大学院に入学を願い出たときは、当該学部又は研究科等の定めるところにより、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生で所定の科目につき試験に合格した者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、修了証書を授与する。

第61条 本学の学生以外の者で学部又は大学院において、1又は複数の科目の履修を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生で履修した科目につき、当該学部又は研究科等の定めるところにより試験のうえ、単位を与えることができる。

第62条 特定の科目を定め、学部又は大学院において、聴講を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生で聴講した科目につき、本人の希望があるときは、証明書を交付する。

第63条 他の大学、専門職大学若しくは外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）の学生又は他の大学、専門職大学若しくは外国の大学の大学院の学生で、大学間の協議に基づき、特定の科目を定め、それぞれ、学部又は大学院において聴講を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 他の大学、専門職大学又は外国の大学の大学院の学生で、大学間の協議に基づき、大学院において研究指導を受けることを志望する者には、当該研究科の定めるところにより、特別研究学生として入学を許可することがある。

3 「大学院教育における大学間学生交流に関する協定書」（平成19年12月25日発効）に基づき、大学院において研究指導を受け、又は聴講を志望する者には、当該研究科の定めるところにより、特別交流学生として入学を許可することがある。

4 特別聴講学生又は特別交流学生として聴講した科目については、試験のうえ、単位を与える。

第63条の2 第61条、第62条並びに前条第1項及び第4項（特別聴講学生に限る。）の規定は、国際高等教育院の場合に準用する。この場合において、第61条第1項、第62条第1項及び前条第1項中「学部又は大学院」とあるのは「国際高等教育院」と、第61条第1項及び第2項、第62条第1項並びに前条第1項中「当該学部又は研究科等」とあるのは「国際高

等教育院」と読み替えるものとする。

第64条 委託生、科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。

2 委託生、科目等履修生又は聴講生として入学する者は、入学に際して、所定の期日までに入学料を納めなければならない。特別聴講学生、特別研究学生又は特別交流学生として入学する者は、入学料の納付を要しない。

3 委託生、科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生の授業料は、履修又は聴講科目の単位数に応じて、特別研究学生の授業料は、研究指導を受ける期間の月数に応じて、それぞれ所定の期日までに納めなければならない。ただし、特別交流学生並びに次の各号に掲げる特別聴講学生及び特別研究学生は、授業料の納付を要しない。

(1) 国立大学（国立大学法人法（平成15年法律第112号）に基づき設置される大学で、当該大学との間における学生の交流協定又は協議に基づき授業料の相互不徴収が確認できるものに限る。）の学生又は大学院の学生

(2) 本学と公立又は私立の大学又は専門職大学との間において締結した大学間相互単位互換協定（相互に授業科目を履修し、単位を修得することを認めるもので、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。）に基づき受け入れる公立又は私立の大学又は専門職大学の学生

(3) 本学と公立又は私立の大学又は専門職大学との間において締結した大学間特別研究学生交流協定（相互に研究指導を受けることを認めるもので、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。）に基づき受け入れる公立又は私立の大学又は専門職大学の大学院の学生

(4) 本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この号において同じ。）との間において締結した大学間交流協定（学部若しくは研究科間の協定又は協定に準じるものを含み、相互に学生を受け入れるもので、その数、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。）に基づき受け入れる外国の大学の学生

4 前3項の規定にかかわらず、科目等履修生又は聴講生として入学を志望し、又は入学する国費外国人留学生は、検定料、入学料及び授業料の納付を、**Kyoto University International Undergraduate Program**における予備教育科目を履修するために国際高等教育院の聴講生として入学する者は、入学料及び授業料の納付を要しない。

5 受理した検定料、入学料及び授業料は、返還しない。

6 入学料又は授業料を納めないときは、入学又は聴講若しくは研究指導を受けることを許可しない。

第65条 第4条、第6条、第8条、第9条、第10条第1項及び第3項、第11条、第12条第1項ないし第5項及び第7項、第13条、第14条、第18条ないし第26条、第28条第1項、第2項及び第4項、第29条ないし第34条の規定は、学部の外国学生に準用する。

2 第10条第1項及び第3項、第11条、第12条第1項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第23条第5項及び第6項ないし第25条、第28条第1項ただし書、第2項及び第4項、第30条ないし第34条、第36条第8項、第36条の2、第38条、第40条ないし第42条、第42条の4ないし第50条の2、第51条第1項、第52条、第53条後段、第55条、第56条の規定は、大学院の外国学生に準用する。

3 第11条、第19条、第24条ないし第26条、第30条ないし第33条の規定は、学部の委託生、科目等履修生及び聴講生に準用する。

4 第11条、第19条、第24条ないし第26条、第30条ないし第33条、第40条、第41条、第44条第1項、第48条、第53条後段の規定は、大学院の委託生、科目等履修生及び聴講生に準用する。

5 第24条、第26条、第30条ないし第33条の規定は、学部の特別聴講学生に準用する。

6 第24条、第30条ないし第33条、第48条の規定は、大学院の特別聴講学生及び特別研究学生に準用する。

7 第24条、第31条ないし第33条、第48条の規定は、特別交流学生に準用する。

8 第11条、第19条、第24条ないし第26条、第30条ないし第33条の規定は国際高等教育院の科目等履修生及び聴講生に、第24条、第26条、第30条ないし第33条の規定は

国際高等教育院の特別聴講学生に準用する。この場合において、第19条中「所属学部長」とあるのは「国際高等教育院長」と、第25条中「学部長」とあるのは「国際高等教育院長」と、第26条中「当該学部」とあるのは「国際高等教育院」と読み替えるものとする。

第5章の2 特別の課程

第66条の2 本学の学生以外の者を対象とした学校教育法第105条に規定する特別の課程として、履修証明プログラムを編成することができる。

2 前項に定めるもののほか、履修証明プログラムに関し必要な事項は、総長が別に定める。

第66条 この章及び別に定めるもののほか、特定の学部又は研究科等において特定の方法により学修を志望する者については、当該学部又は研究科等の定めるところによる。

第6章 授業料等の額

第67条 第10条第1項及び第42条の2第1項の検定料並びに第12条第1項及び第42条の3第1項の入学料の額並びに第28条第1項及び第51条第1項の授業料の年額並びに第64条第1項の検定料、同条第2項の入学料及び同条第3項の授業料の額は、それぞれ学納金規程の定めるところによる。

附 則

- 1 この規程は、昭和28年4月1日から施行する。
- 2 昭和24年3月31日以前の入学者については、第23条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和27年3月31日以前の入学者については、第23条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 従前の規定による大学院は、従前の規定による大学の卒業者に限り、入学の資格あるものとする。
- 5 従前の規定による大学院学生は、この規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 昭和24年8月5日達示第13号制定の京都大学通則は、廃止する。

〔中間の改正規程の附則は、省略した。〕

附 則

この規程は、令和4年6月28日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日以前の薬学部の入学者については、改正後の第23条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1 学部（第3条の2関係）

学部名	学科名	入学定員	収容定員
総合人間学部	総合人間学科	120	480
文学部	人文学科	220	880
教育学部	教育科学科	60（10）	260
法学部		330（10）	1,340
経済学部	経済経営学科	240（20）	1,000
理学部	理学科	311	1,244
医学部	医学科	105	640
	人間健康科学科	100〔17〕	451
	計	205〔17〕	1,091
薬学部	薬科学科	65	260
	薬学科	15	90
	計	80	350
工学部	地球工学科	185	740
	建築学科	80	320
	物理工学科	235	940

	電気電子工学科	1 3 0	5 2 0
	情報学科	9 0	3 6 0
	工業化学科	2 3 5	9 4 0
	計	9 5 5	3, 8 2 0
農学部	資源生物科学科	9 4	3 7 6
	応用生命科学科	4 7	1 8 8
	地域環境工学科	3 7	1 4 8
	食料・環境経済学科	3 2	1 2 8
	森林科学科	5 7	2 2 8
	食品生物科学科	3 3	1 3 2
	計	3 0 0	1, 2 0 0
総計		2, 8 2 1 [1 7] (4 0)	1 1, 6 6 5

(備考) 入学定員の [] を付したものは2年次編入学定員で外数、() を付したものは3年次編入学定員で外数

別表第2

1 大学院 (第35条関係)

研究科名	専攻名	修士課程		博士後期課程		博士課程		合 計 収 容定員
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文学研究科	文献文化学専攻	3 3	6 6	1 8	5 4	—	—	3 8 5
	思想文化学専攻	2 0	4 0	1 1	3 3	—	—	
	歴史文化学専攻	2 0	4 0	1 1	3 3	—	—	
	行動文化学専攻	1 8	3 6	1 0	3 0	—	—	
	現代文化学専攻	9	1 8	5	1 5	—	—	
	京都大学・ハイデル ベルク大学国際 連携文化越境専攻	1 0	2 0	—	—	—	—	
	計	1 1 0	2 2 0	5 5	1 6 5	—	—	
教育学研究 科	教育学環専攻	4 2	8 4	2 5	7 5	—	—	1 5 9
法学研究科	法政理論専攻	2 1	4 2	2 4	7 2	—	—	1 1 4
経済学研究 科	経済学専攻	7 0	1 4 0	2 5	7 5	—	—	2 3 1
	京都大学国際連携 グローバル経済・ 地域創造専攻	8	1 6	—	—	—	—	
	計	7 8	1 5 6	2 5	7 5	—	—	
理学研究科	数学・数理解析専 攻	5 2	1 0 4	2 0	6 0	—	—	1, 1 3 4
	物理学・宇宙物理 学専攻	8 1	1 6 2	4 8	1 4 4	—	—	
	地球惑星科学専攻	5 0	1 0 0	2 5	7 5	—	—	
	化学専攻	6 1	1 2 2	3 2	9 6	—	—	
	生物科学専攻	7 4	1 4 8	4 1	1 2 3	—	—	
	計	3 1 8	6 3 6	1 6 6	4 9 8	—	—	
医学研究科	医学専攻	—	—	—	—	1 6 6	6 6 4	1, 0 1 6
	医科学専攻	2 0	4 0	1 5	4 5	—	—	
	社会健康医学系専 攻	—	—	1 2	3 6	—	—	

	人間健康科学系専攻	7 0	1 4 0	2 5	7 5	—	—	
	京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻計	—	—	—	—	4	1 6	
		9 0	1 8 0	5 2	1 5 6	1 7 0	6 8 0	
薬学研究科	薬科学専攻	5 0	1 0 0	1 2	4 6	—	—	2 2 7
	薬学専攻	—	—	—	—	8	4 6	
	創発医薬科学専攻	—	—	—	—	1 4	2 8	
	医薬創成情報科学専攻	—	—	—	7	—	—	
	計	5 0	1 0 0	1 2	5 3	2 2	7 4	
工学研究科	社会基盤工学専攻	5 8	1 1 6	1 7	5 1	—	—	1, 9 6 7
	都市社会工学専攻	5 7	1 1 4	1 7	5 1	—	—	
	都市環境工学専攻	3 6	7 2	1 0	3 0	—	—	
	建築学専攻	7 5	1 5 0	2 2	6 6	—	—	
	機械理工学専攻	5 9	1 1 8	1 6	4 8	—	—	
	マイクロエンジニアリング専攻	3 0	6 0	7	2 1	—	—	
	航空宇宙工学専攻	2 4	4 8	7	2 1	—	—	
	原子核工学専攻	2 3	4 6	9	2 7	—	—	
	材料工学専攻	3 8	7 6	1 0	3 0	—	—	
	電気工学専攻	3 8	7 6	1 0	3 0	—	—	
	電子工学専攻	3 5	7 0	1 0	3 0	—	—	
	材料化学専攻	2 9	5 8	9	2 7	—	—	
	物質エネルギー化学専攻	3 9	7 8	1 1	3 3	—	—	
	分子工学専攻	3 5	7 0	1 0	3 0	—	—	
	高分子化学専攻	4 6	9 2	1 5	4 5	—	—	
	合成・生物化学専攻	3 2	6 4	1 0	3 0	—	—	
	化学工学専攻	3 4	6 8	7	2 1	—	—	
	計	6 8 8	1, 3 7 6	1 9 7	5 9 1	—	—	
農学研究科	農学専攻	3 3	6 6	8	2 4	—	—	8 7 6
	森林科学専攻	5 8	1 1 6	2 0	5 7	—	—	
	応用生命科学専攻	6 3	1 2 6	1 7	5 1	—	—	
	応用生物科学専攻	5 2	1 0 4	1 7	5 1	—	—	
	地域環境科学専攻	4 0	8 0	1 2	3 9	—	—	
	生物資源経済学専攻	2 4	4 8	8	2 4	—	—	
	食品生物科学専攻計	3 3 3 0 3	6 6 6 0 6	8 9 0	2 4 2 7 0	— —	— —	
人間・環境学研究科	人間・環境学専攻	1 6 4	1 6 4	6 8	6 8	—	—	5 3 2
	共生人間学専攻	—	6 9	—	5 6	—	—	
	共生文明学専攻	—	5 7	—	5 0	—	—	
	相関環境学専攻	—	3 8	—	3 0	—	—	
	計	1 6 4	3 2 8	6 8	2 0 4	—	—	
エネルギー	エネルギー社会・	2 9	5 8	1 2	3 6	—	—	3 6 5

科学研究科	環境科学専攻							
	エネルギー基礎科学専攻	4 2	8 4	1 2	3 6	—	—	
	エネルギー変換科学専攻	2 5	5 0	4	1 2	—	—	
	エネルギー応用科学専攻	3 4	6 8	7	2 1	—	—	
	計	1 3 0	2 6 0	3 5	1 0 5	—	—	
アジア・アフリカ地域研究研究科	東南アジア地域研究専攻	—	—	—	—	1 0	5 0	1 5 0
	アフリカ地域研究専攻	—	—	—	—	1 2	6 0	
	グローバル地域研究専攻	—	—	—	—	8	4 0	
	計	—	—	—	—	3 0	1 5 0	
情報学研究科	情報学研究科	2 4 0	2 4 0	6 0	6 0	—	—	6 0 9
	知能情報学専攻	—	3 7	—	3 0	—	—	
	社会情報学専攻	—	3 6	—	2 8	—	—	
	先端数理学専攻	—	2 0	—	1 2	—	—	
	数理工学専攻	—	2 2	—	1 2	—	—	
	システム科学専攻	—	3 2	—	1 6	—	—	
	通信情報システム専攻	—	4 2	—	2 2	—	—	
	計	2 4 0	4 2 9	6 0	1 8 0	—	—	
生命科学研究所	統合生命科学専攻	4 0	8 0	1 9	5 7	—	—	2 4 9
	高次生命科学専攻	3 5	7 0	1 4	4 2	—	—	
	計	7 5	1 5 0	3 3	9 9	—	—	
総合生存学館	総合生存学専攻	—	—	—	—	2 0	1 0 0	1 0 0
地球環境学舎	地球環境学専攻	—	—	1 3	3 9	—	—	1 4 8
	環境マネジメント専攻	4 4	8 8	7	2 1	—	—	
	計	4 4	8 8	2 0	6 0	—	—	
経営管理教育部	経営科学専攻	—	—	7	2 1	—	—	2 1
総計		2, 3 5 3	4, 6 5 5	8 6 9	2, 6 2 4	2 4 2	1, 0 0 4	8, 2 8 3

2 専門職大学院・法科大学院（第53条の2第5項関係）

研究科名	専攻名	専門職学位課程		合計収容定員
		入学定員	収容定員	
法学研究科	法曹養成専攻	1 6 0	4 8 0	4 8 0
医学研究科	社会健康医学系専攻	3 4	6 8	6 8
公共政策教育部	公共政策専攻	4 0	8 0	8 0
経営管理教育部	経営管理専攻	1 0 0	2 0 0	2 0 0
総計		3 3 4	8 2 8	8 2 8

令和5年度 修士課程 授業科目表

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名		単 位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期 期	曜 日	時 限	場 所	備 考	教職 科目
教養知科目		KK01000	研究を他者と語る	Research Presentations for Non-Specialists		1	演習		指導教員	通年	その他		未定	2回生配当科目	
学 際 知 科 目	1 数 理 ・ 情 報 科 学 講 座	AA01000	数理科学基礎演習	Basic Seminar on Mathematical Sciences		2	演習		数理・情報科学講座教員	前期	未定		未定		
		AA02000	数理科学特論	Special Course on Mathematical Sciences		2	講義	○	未定	後期	集中		総人棟1401	総人共通科目	
		AA03000	数理現象解析論1	Analysis of Mathematical Phenomena 1		2	講義		足立匡義	後期	金	2	総人棟1401	総人共通科目	○
		AA04000	数理現象解析論2	Analysis of Mathematical Phenomena 2		2	講義		上木直昌	後期	火	3	総人棟1401	総人共通科目	○
		AA05000	非線型現象論	Nonlinear Phenomena		2	講義		上木直昌	N					○
		AA06000	力学系理論1	Dynamical Systems 1		2	講義		角 大輝	N					○
		AA07000	力学系理論2	Dynamical Systems 2		2	講義		木坂正史	N					○
		AA08000	現象数理論演習1A	Seminar on Mathematics of Phenomena 1A		2	演習	○	上木直昌	前期	月	5	人環棟223研究室		○
		AA09000	現象数理論演習1B	Seminar on Mathematics of Phenomena 1B		2	演習	○	上木直昌	後期	月	5	人環棟223研究室		○
		AA10000	現象数理論演習2A	Seminar on Mathematics of Phenomena 2A		2	演習	○	木坂正史	前期	火	5	人環棟219研究室		○
		AA11000	現象数理論演習2B	Seminar on Mathematics of Phenomena 2B		2	演習	○	木坂正史	後期	火	5	人環棟219研究室		○
		AA12000	現象数理論演習3A	Seminar on Mathematics of Phenomena 3A		2	演習	○	上木直昌	N					○
		AA13000	現象数理論演習3B	Seminar on Mathematics of Phenomena 3B		2	演習	○	上木直昌	N					○
		AA14000	現象数理論演習4A	Seminar on Mathematics of Phenomena 4A		2	演習	○	足立匡義	前期	木	3	人環棟225研究室		○
		AA15000	現象数理論演習4B	Seminar on Mathematics of Phenomena 4B		2	演習	○	足立匡義	後期	木	3	人環棟225研究室		○
		AA16000	現象数理論演習5A	Seminar on Mathematics of Phenomena 5A		2	演習	○	角 大輝	前期	月	4	人環棟231研究室		○
		AA17000	現象数理論演習5B	Seminar on Mathematics of Phenomena 5B		2	演習	○	角 大輝	後期	月	4	人環棟231研究室		○
		AA18000	情報基礎論1	Foundation of Informatics 1		2	講義		櫻川貴司	N					
		AA19000	情報基礎論2	Foundation of Informatics 2		2	講義		櫻川貴司	前期	金	2	総人棟1206	総人共通科目	
		AA20000	画像情報論	Visual Information Analysis		2	講義		日置尋久	後期	木	2	総人棟1206		○
		AA21000	計算基礎論1	Foundation of Computation 1		2	講義		立木秀樹	N					○
		AA22000	計算基礎論2	Foundation of Computation 2		2	講義		立木秀樹	後期	月	2	総合館共北25	総人全共共通科目	○
		AA23000	知の情報処理論	Intelligent Information Processing		2	講義		ディプレクト、マシュージョセフ	N					
		AA24000	数理情報基礎論	Foundation of Mathematical Informatics		2	講義		ディプレクト、マシュージョセフ	後期	火	3	総人棟1806	総人共通科目	
		AA25000	数理情報論演習1A	Exercises for Mathematical Informatics 1A		2	演習	○	櫻川貴司	前期	火	3	総人棟1204		
		AA26000	数理情報論演習1B	Exercises for Mathematical Informatics 1B		2	演習	○	櫻川貴司	後期	水	3	総人棟1401		
		AA27000	数理情報論演習2A	Exercises for Mathematical Informatics 2A		2	演習	○	立木秀樹	前期	金	3	総人棟1401		○
		AA28000	数理情報論演習2B	Exercises for Mathematical Informatics 2B		2	演習	○	立木秀樹	後期	金	3	総人棟1401		○
		AA29000	数理情報論演習3A	Exercises for Mathematical Informatics 3A		2	演習	○	日置尋久	前期	火	3	総合館216演習室		○
		AA30000	数理情報論演習3B	Exercises for Mathematical Informatics 3B		2	演習	○	日置尋久	後期	火	3	総合館216演習室		○
		AA31000	数理情報論演習4A	Exercises for Mathematical Informatics 4A		2	演習	○	ディプレクト、マシュージョセフ	前期	金	3	人環棟535演習室		
		AA32000	数理情報論演習4B	Exercises for Mathematical Informatics 4B		2	演習	○	ディプレクト、マシュージョセフ	後期	金	3	人環棟535演習室		
学 際 知 科 目	2 人 間 ・ 社 会 ・ 思 想 講 座	BB01000	関係発達論1（教育分野に関する理論と支援の展開）	Relational Self Psychology 1(Support Theory and Applications in Educational Area)		2	講義		大倉得史	前期	火	3	人環棟地下大講義室	総人共通科目	
		BB02000	関係発達論2（心理支援に関する理論と実践）	Relational Self Psychology 2(Theory and Practice of Psychological Support)		2	講義		大倉得史	N					
		BB03000	生成無意識論1	Generative Unconscious 1		2	講義		松本卓也	前期	水	3	総合館共東21	総人共通科目	
		BB04000	生成無意識論2	Generative Unconscious 2		2	講義		松本卓也	N					
		BB05000	人間形成論1	Psycho-Social Development 1		2	講義		倉石一郎	後期	水	2	人環棟地下大講義室	教育・総人共通科目	○
		BB06000	人間形成論2	Psycho-Social Development 2		2	講義		倉石一郎	N					○
		BB07000	人間形成史論1	History of Education 1		2	講義		石岡 学	N					
		BB08000	人間形成史論2	History of Education 2		2	講義		石岡 学	前期	水	2	総人棟1103	総人共通科目	
		BB09000	人間形成論演習1	Seminar in Human Formation 1		2	演習	○	松本卓也	後期	水	3	吉田南1号館1共03	総人共通科目	
		BB10000	人間形成論演習2	Seminar in Human Formation 2		2	演習	○	大倉得史	前期	月	4	人環棟333演習室		
		BB11000	人間形成論演習3	Seminar in Human Formation 3		2	演習	○	石岡 学	後期	木	2	人環棟322研究室		
		BB12000	人間形成論演習4	Seminar in Human Formation 4		2	演習	○	倉石一郎	後期	水	3	人環棟533演習室	総人共通科目	
		BB13000	犯罪精神病理学（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	Criminal Psychopathology(Support Theory and Applications in Forensics and Criminology Area)		2	演習		松本卓也	後期	火	4	人環棟323研究室		
		BB14000	精神分析学特論	Special Course on Psychoanalysis		2	講義		平井正三	後期	木	3	総人棟1102	総人共通科目	
		BB15000	宗教社会・心理学講義1	Social Psychology of Religion 1		2	講義			N					
		BB16000	宗教社会・心理学講義2	Social Psychology of Religion 2		2	講義			N					
		BB17000	人間・社会行動論1	Human Social Behavior 1		2	講義		柴田 悠	前期	木	2	総合館共北31	文学・総人共通科目	
		BB18000	人間・社会行動論2	Human Social Behavior 2		2	講義		吉田 純	前期	月	5	総人棟1102	文学・総人・エネ科共通科目	

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
		BB19000	社会心理学1	Social Psychology 1	2	講義		永田素彦	前期	火	3	総合館207研究室		
		BB20000	社会心理学2（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	Social Psychology 2(Support Theory and Practice for Family, Group, and Community)	2	講義		永田素彦	後期	火	3	総合館207研究室		
		BB21000	社会行動論演習1	Social Behavior Seminar 1	2	演習	○	永田素彦	前期	火	4	総合館207研究室		○
		BB22000	社会行動論演習2	Social Behavior Seminar 2	2	演習	○	柴田 悠	後期	木	2	総合館共北12	文学共通科目	
		BB23000	社会行動論演習3	Social Behavior Seminar 3	2	演習	○	吉田 純	後期	火	4	総合館216演習室		
		BB24000	社会調査のための統計学	Statistics for Social Research	2	講義		溝口佑爾	後期	木	2	総人棟1102	文学・教育・総人共通科目	
		BB25000	社会学演習	Seminar on Sociology	4	演習		田中紀行	通年	火	5	社会学共同研究室（文学部校舎5階）	文（院）共通科目	
		BB26000	自己存在論1	Ontology of Self 1	2	講義		安部 浩	後期	金	3	人環棟333演習室		○
		BB27000	自己存在論2	Ontology of Self 2	2	講義		安部 浩	N					○
		BB28000	認識人間学1	Epistemological Human Studies 1	2	講義		青山拓央	N					
		BB29000	認識人間学2	Epistemological Human Studies 2	2	講義		青山拓央	前期	金	2	人環棟433演習室		
		BB30000	哲学・文化史1	History of Philosophy and Culture 1	2	講義		戸田剛文	前期	木	2	総合館477		○
		BB31000	哲学・文化史2	History of Philosophy and Culture 2	2	講義		戸田剛文	N					
		BB32000	人間実践論1	Philosophical Theory of Human Acts 1	2	講義		佐藤義之	前期	水	5	人環棟233演習室		○
		BB33000	人間実践論2	Philosophical Theory of Human Acts 2	2	講義		佐藤義之	N					○
		BB34000	人間存在論演習1	Seminar in Theory of Human Ontology 1	2	演習		佐藤義之、安部 浩、戸田剛文、青山拓央	後期	未定		未定		
		BB35000	人間存在論演習2	Seminar in Theory of Human Ontology 2	2	演習		佐藤義之、安部 浩、戸田剛文、青山拓央	通年	未定		未定		
		BB36000	認識人間学演習1	Seminar in Epistemological Human Studies 1	2	演習	○	青山拓央	前期	金	4	人環棟433演習室	総人共通科目	
		BB37000	認識人間学演習2	Seminar in Epistemological Human Studies 2	2	演習	○	青山拓央	後期	金	4	人環棟433演習室	総人共通科目	
		BB38000	哲学・文化史演習1	Seminar in History of Philosophy and Culture 1	2	演習	○	戸田剛文	前期	火	3	総人棟1104	文学・総人共通科目	
		BB39000	哲学・文化史演習2	Seminar in History of Philosophy and Culture 2	2	演習	○	戸田剛文	後期	火	3	総人棟1306	総人共通科目	
		BB40000	自己存在論演習1	Seminar on Ontology of Self 1	2	演習	○	安部 浩	N				文学・総人共通科目	
		BB41000	自己存在論演習2	Seminar on Ontology of Self 2	2	演習	○	安部 浩	後期	木	2	人環棟333演習室	文学・総人共通科目	
		BB42000	人間実践論演習1	Seminar on Philosophical Theory of Human Acts 1	2	演習	○	佐藤義之	前期	水	4	人環棟233演習室	文学・総人共通科目	
		BB43000	人間実践論演習2	Seminar on Philosophical Theory of Human Acts 2	2	演習	○	佐藤義之	後期	水	4	人環棟233演習室	文学・総人共通科目	
		BB44000	外国語教育政策論1	Foreign Language Education Policy 1	2	講義		西山教行	N				隔年開講 総人共通科目	
		BB45000	外国語教育政策論2	Foreign Language Education Policy 2	2	講義		西山教行	後期	水	4	国際高等教育院棟演習室21	隔年開講 総人共通科目	
		BB46000	文明相関論1	Correlation of Civilizations 1	2	講義	○	細見和之	前期	火	5	人環棟533演習室	文学共通科目	○
		BB47000	文明相関論2	Correlation of Civilizations 2	2	講義	○	小林哲也	前期	月	5	総合館402演習室		○
		BB48000	文明構造論演習1	Seminar on Structure of Civilizations 1	2	演習	○	細見和之	後期	火	5	人環棟533演習室	文学共通科目	○
		BB49000	文明構造論演習2	Seminar on Structure of Civilizations 2	2	演習	○	小林哲也	後期	月	5	総合館402演習室		○
学 際 知 科 目	3 芸 術 文 化 講 座	CC01000	ヒストリー・オヴ・アイディアズ1	History of Ideas 1	2	講義		上田泰史	N					
		CC02000	ヒストリー・オヴ・アイディアズ2	History of Ideas 2	2	講義		上田泰史	N					
		CC03000	動態映画文化論1	Cinema Studies 1	2	講義	○	木下千花	前期	水	2	総人棟1102	文学・総人共通科目	
		CC04000	動態映画文化論2	Cinema Studies 2	2	講義	○	木下千花	後期	水	2	総人棟1102	文学・総人共通科目	
		CC05000	動態映画文化論3	Cinema Studies 3	2	講義	○	仁井田千絵	前期	水	3	総人棟1102	文学・総人共通科目	
		CC06000	動態映画文化論4	Cinema Studies 4	2	講義	○	仁井田千絵	後期	水	3	総人棟1102	文学・総人共通科目	
		CC07000	制度・生活文化史1	The History of Institutions and Cultural Life 1	2	講義	○	上田泰史	N					
		CC08000	制度・生活文化史2	The History of Institutions and Cultural Life 2	2	講義	○	菅利恵	前期	金	4	総人棟1B05	総人共通科目	
		CC09000	音楽文化論講義	Music Studies	2	講義	○	上田泰史	前期	木	2	総人棟1B05	総人共通科目	
		CC10000	音楽文化論実習	Practical Training for Music Studies	2	実習	○	杉山恵梨	前期	木	3	総北棟4117	総人共通科目	
		CC11000	メディア・スタディーズ	Media Studies	2	講義	○	馬 定延	前期	集中		未定	総人共通科目	
		CC12000	メディア文化学（特殊講義）	Media and Culture Studies (Special Lectures)	2	講義			N					
		CC13000	文化社会論演習1	Seminar in Studies of Cultural Societies 1A	2	演習	○	仁井田千絵	N					
		CC14000	文化社会論演習2	Seminar in Studies of Cultural Societies 2A	2	演習	○	上田泰史	後期	木	2	総人棟1306	総人共通科目	
		CC15000	文化社会論演習3	Seminar in Studies of Cultural Societies 3B	2	演習	○	菅利恵	後期	火	4	総人棟1104	総人共通科目	
		CC16000	文化社会論演習4A	Seminar in Studies of Cultural Societies 4A	2	演習	○	木下千花・仁井田千絵	前期	水	4・5	総人棟1104	総人共通科目	
		CC17000	文化社会論演習4B	Seminar in Studies of Cultural Societies 4B	2	演習	○	仁井田千絵・木下千花	後期	水	4・5	総人棟1104	総人共通科目	
		CC18000	芸術生成論1A	Generative Theory of Arts 1A	2	講義		武田宙也	前期	月	3	人環棟433演習室	文学共通科目	○
		CC19000	芸術生成論1B	Generative Theory of Arts 1B	2	講義		武田宙也	後期	月	3	人環棟433演習室	文学共通科目	○
		CC20000	芸術生成論2A	Generative Theory of Arts 2A	2	講義		田口かおり	前期	未定		未定		
		CC21000	芸術生成論2B	Generative Theory of Arts 2B	2	講義		田口かおり	後期	未定		未定		
		CC22000	舞台芸術論1	Performing Arts 1	2	講義		栗山智成	N					

科目区分		R5講義コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業形態	複数履修	授業担当者	開講期	曜日	時限	場所	備考	教職科目
		CC23000	舞台芸術論2	Performing Arts 2	2	講義		桑山智成	前期	水	3	総合館共北3A	総人共通科目	
		CC24000	創造行為論演習1A	Seminar on the Theory of Creative Arts 1A	2	演習	○	武田宙也	前期	月	4	人環棟433演習室	総人共通科目	○
		CC25000	創造行為論演習1B	Seminar on the Theory of Creative Arts 1B	2	演習	○	武田宙也	後期	月	4	人環棟433演習室	総人共通科目	○
		CC26000	創造行為論演習2A	Seminar on the Theory of Creative Arts 2A	2	演習	○	田口かおり	前期	未定	未定			
		CC27000	創造行為論演習2B	Seminar on the Theory of Creative Arts 2B	2	演習	○	田口かおり	後期	未定	未定			
		CC28000	創造行為論演習3B	Seminar on the Theory of Creative Arts 3B	2	演習	○	桑山智成	後期	火	3	総合館101演習室		○
		CC29000	英米文芸表象論A	Literary Representation in English A	2	講義	○	小島基洋	前期	金	3	総合館共北11		○
		CC30000	英米文芸表象論B	Literary Representation in English B	2	講義	○	小島基洋	後期	金	3	総合館共北11		○
		CC31000	英米文芸構造論A	Literary Studies in English & American Novels A	2	講義	○	廣野由美子	前期	火	2	総合館101演習室		○
		CC32000	英米文芸構造論B	Literary Studies in English & American Novels B	2	講義	○	廣野由美子	後期	火	2	総合館101演習室		○
		CC33000	ドイツ文芸思想論	German Literature and Thought	2	演習	○	須藤秀平	前期	月	4	総人棟1306	総人共通科目	
		CC34000	文芸表象論演習1	Seminar on Literary Representation 1	2	演習	○	小島基洋	前期	金	4	総合館共北34	総人共通科目	○
		CC35000	文芸表象論演習2	Seminar on Literary Representation 2	2	演習	○	須藤秀平	後期	月	4	総人棟1104	総人共通科目	○
		CC36000	文化交渉複合論1	Cross Cultural Relations 1	2	講義	○	勝又直也	前期	火	2	総人棟1103	総人共通科目	
		CC37000	文化交渉複合論2	Cross Cultural Relations 2	2	講義	○	勝又直也	N					
		CC38000	多文化複合論演習2	Seminar on Complex Studies of Cultures 2	2	演習	○	勝又直也	後期	火	2	総人棟1103	総人共通科目	
		CC39000	パラダイム文明論1	Paradigms and Civilizations 1	2	講義	○	中筋 朋	N					
		CC40000	パラダイム文明論2	Paradigms and Civilizations 2	2	講義	○	中筋 朋	後期	火	4	総合館共西21	総人共通科目	
		CC41000	文明交流論演習2A	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 2A	2	演習	○	中筋 朋	前期	金	4	総合館216演習室	文学・総人共通科目	
		CC42000	文明交流論演習2B	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 2B	2	演習	○	中筋 朋	後期	金	4	総合館216演習室	文学・総人共通科目	
		CC43000	イギリス近現代文化論1A	Early Modern British Culture 1A	2	講義	○	合田典世	前期	水	2	総合館共北33	総人共通科目	○
		CC44000	イギリス近現代文化論1B	Early Modern British Culture 1B	2	講義	○	合田典世	N					○
		CC45000	イギリス近現代文化論2A	Early Modern British Culture 2A	2	講義	○	桂山康司	前期	火	5	総人棟1103	総人共通科目	○
		CC46000	イギリス近現代文化論2B	Early Modern British Culture 2B	2	講義	○	桂山康司	N					○
		CC47000	イギリス近現代文化論3A	Early Modern British Culture 3A	2	講義	○	池田寛子	前期	木	3	総合館216演習室	総人共通科目	○
		CC48000	イギリス近現代文化論3B	Early Modern British Culture 3B	2	講義	○	池田寛子	N					○
		CC49000	西欧文化論演習1A	Seminar on Western European Culture 1A	2	演習	○	合田典世	前期	水	3	総合館共北3B	総人共通科目	○
		CC50000	西欧文化論演習1B	Seminar on Western European Culture 1B	2	演習	○	合田典世	後期	木	3	総合館共北3D	総人共通科目	○
		CC51000	西欧文化論演習2A	Seminar on Western European Culture 2A	2	演習	○	桂山康司	前期	火	3	総人棟1806	文学・総人共通科目	○
		CC52000	西欧文化論演習2B	Seminar on Western European Culture 2B	2	演習	○	桂山康司	後期	火	3	総人棟1806	文学・総人共通科目	○
		CC53000	西欧文化論演習3A	Seminar on Western European Culture 3A	2	演習	○	池田寛子	前期	金	4	総合館共北3B	総人共通科目	○
		CC54000	西欧文化論演習3B	Seminar on Western European Culture 3B	2	演習	○	池田寛子	後期	金	4	総合館共北3B	総人共通科目	○
学 際 知 科 目	4 認 知 ・ 行 動 ・ 健 康 科 学 講 座	DD01000	認知・行動科学総合演習1	General Seminar on Cognitive and Behavioral Sciences 1	1	演習		認知・行動科学講座教員	後期	集中	未定		1回生配当 13講座修士 必須	
		DD02000	認知・行動科学総合演習2	General Seminar on Cognitive and Behavioral Sciences 2	1	演習		認知・行動科学講座教員	前期	集中	未定		2回生配当 13講座修士 必須	
		DD03000	視覚認識論	Visual Cognition	2	講義		齋木 潤	後期	火	4	人環棟233演習室	文学・教育共通科目	
		DD04000	認知機能論	Cognitive Brain Functions	2	講義		小村 豊	前期	水	2	総合館共西21		
		DD05000	認知神経科学	Cognitive Neuroscience	2	講義		月浦 崇	前期	月	4	総人棟1207	総人・教育共通科目	
		DD06000	比較認知文化論	Cultural Psychological Perspectives in Cognition	2	講義		内田由紀子	後期	水	4	総人棟1809	教育共通科目	
		DD07000	認知科学演習1	Seminar on Cognitive Science 1	2	演習	○	月浦 崇	後期	月	4	総人棟1207	総人共通科目	
		DD08000	認知科学演習2	Seminar on Cognitive Science 2	2	演習	○	小村 豊	後期	水	2	総合館共西21		
		DD09000	認知科学演習3	Seminar on Cognitive Science 3	2	演習	○	齋木 潤	前期	月	4	人環棟233演習室	総人共通科目	
		DD10000	認知科学演習4	Seminar on Cognitive Science 4	2	演習		内田由紀子	後期	月	4	人環棟333演習室		
		DD11000	認知科学英語演習	Academic English in Cognitive Science	2	演習		内田由紀子、中山真孝、DE ALMEIDA, Igor	前期	木	3	総人棟1207	教育共通科目	
		DD12000	生理心理学	Psychophysiology	2	講義			N					
		DD13000	行動発達論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	Human Development in Behavior (Support Theory and Application in Social Welfare Area)	2	講義		田中真介	前期	木	3	人環棟333演習室		
		DD14000	身体運動学	Motor and Exercise	2	講義		久代恵介	後期	月	5	総合館101演習室		
		DD15000	運動生理学	Physiology for Behavior	2	講義		神崎素樹	前期	木	3	人環棟206室		
		DD16000	運動制御研究のためのプログラミング演習	Programming Seminar for Motor Control Research	2	演習		萩生翔大	前期	水	3	人環棟406室		
		DD17000	行動制御学演習1	Seminar on Behavioral Control 1	2	演習	○	久代恵介	前期	月	5	総合館101演習室		
		DD18000	行動制御学演習2	Seminar on Behavioral Control 2	2	演習	○	田中真介	後期	集中	未定			
		DD19000	行動制御学演習3	Seminar on Behavioral Control 3	2	演習	○	神崎素樹	後期	集中		人環棟206室		

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
学 際 知 科 目		DD20000	行動制御学演習4	Seminar on Behavioral Control 4	2	演習	○	萩生翔大	後期	集中		人環棟406室		
		DD21000	運動医科学	Exercise And Medical Science	2	講義		林 達也	前期	火	2	人環棟309室		
		DD22000	身体機能論演習（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	Seminar in Principles of Physiological Functions (Support Theory and Application in Madical and Health Area)	2	演習		林 達也、船曳康子	後期	火	2	林（研究室） 船曳（総合館216演習室）	リレー演習	
		DD23000	精神医科学1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	Mental Science 1 (Theory and Practice of Psychological Assessment)	2	講義		船曳康子	N					
		DD24000	精神医科学2（心の健康教育に関する理論と実践）	Mental Science 2 (Theory and Practice for Mental Health Education)	2	講義		船曳康子	前期	木	2	総合館216演習室		
	5 言語科学講座	EE01000	認知言語論1	Cognition and Language 1	2	講義	○	谷口一美	前期	水	4	総合館334演習室	文学共通科目	○
		EE02000	認知言語論2	Cognition and Language 2	2	講義	○	谷口一美	N					○
		EE03000	言語機能論1	Language and its Functions 1	2	講義	○	守田貴弘	N					
		EE04000	言語機能論2	Language and its Functions 2	2	講義	○	守田貴弘	前期	月	5	総合館334演習室		
		EE05000	言語構造論1	Language and its Structure 1	2	講義	○	藤田耕司	N					
		EE06000	言語構造論2	Language and its Structure 2	2	講義	○	藤田耕司	前期	水	3	総合館共北27	総人・全共共通科目	
		EE07000	談話分析論	Discourse Analysis	2	講義		横森大輔	後期	月	2	総合館共北37	文学共通科目	
		EE08000	言語情報科学演習1	Seminar: Language and Information Science 1	2	演習	○	谷口一美	後期	水	5	総合館216演習室	文学・総人共通科目	
		EE09000	言語情報科学演習2	Seminar: Language and Information Science 2	2	演習	○	守田貴弘	後期	月	5	総合館334演習室		
		EE10000	言語比較論1	Comparative Language Studies 1	2	講義	○	西脇麻衣子	前期	水	3	総合館216演習室	総人共通科目	
		EE11000	言語比較論2	Comparative Language Studies 2	2	講義	○	河崎 靖	前期	金	3	人環棟233演習室	文学・総人共通科目	○
		EE12000	自然言語論1	Historical Linguistics and General Linguistics 1	2	講義	○	堀口大樹	N					
		EE13000	言語比較論3	Historical Linguistics and General Linguistics 2	2	講義	○	堀口大樹	前期	火	4	総人棟1B07	文学共通科目	
		EE14000	言語比較論演習1	Seminar: Comparative and Contrastive Linguistics 1	2	演習	○	西脇麻衣子	後期	水	3	総合館216演習室		
		EE15000	言語比較論演習2	Seminar: Comparative and Contrastive Linguistics 2	2	演習	○	河崎 靖	後期	火	4	総人棟1207	文学共通科目	
		EE16000	言語比較論演習3	Seminar: Comparative and Contrastive Linguistics 3	2	演習	○	堀口大樹	後期	火	4	総合館共北3A	文学共通科目	
		EE17000	外国語習得論1	Theories of Foreign Language Learning and Teaching 1	2	講義		中森誉之	後期	水	1	総合館 共東22（CALL）	隔年開講	○
		EE18000	外国語習得論2	Theories of Foreign Language Learning and Teaching 2	2	講義		中森誉之	N				隔年開講	○
		EE19000	外国語教育学1	Foreign Language Education Studies 1	2	講義		ピーターソン，マーク	後期	火	3	総合館 共北23（CALL）	隔年開講 総人共通科目	
		EE20000	外国語教育学2	Foreign Language Education Studies 2	2	講義		ピーターソン，マーク	N				隔年開講 総人共通科目	
		EE21000	日本語教育論1	Teaching Japanese as a Foreign Language 1	2	講義		牲川波都季	前期	集中		未定	隔年開講 総人共通科目	
		EE22000	日本語教育論2	Teaching Japanese as a Foreign Language 2	2	講義		牲川波都季	N				隔年開講 総人共通科目	
		EE23000	外国語教育論演習1	Seminar on Foreign Language Education 1	2	演習		ピーターソン，マーク	N					
		EE24000	外国語教育論演習2	Seminar on Foreign Language Education 2	2	演習	○	中森誉之	前期	水	1	総合館 共東22（CALL）	総人共通科目	○
		EE25000	異文化理解教育論1	Intercultural Understanding Pedagogy 1	2	講義		ダルスキー，デビッド	前期	木	3	総合館共北3D	隔年開講	
		EE26000	異文化理解教育論2	Intercultural Understanding Pedagogy 2	2	講義		ダルスキー，デビッド	N				隔年開講	
		EE27000	外国語教育授業研究論1	Classroom Research 1	2	講義		スチュワート，ティモシー	前期	火	2	総合館共北3C	隔年開講	
		EE28000	外国語教育授業研究論2	Classroom Research 2	2	講義		スチュワート，ティモシー	N				隔年開講	
		EE29000	多言語社会言語教育論1	Language Education in Multilingual Societies 1	2	講義		塚原信行	N				隔年開講	
		EE30000	多言語社会言語教育論2	Language Education in Multilingual Societies 2	2	講義		塚原信行	前期	火	1	未定	隔年開講	
		EE31000	言語教育設計学1	Instructional Design for Language Education 1	2	講義		柳瀬陽介	後期	木	3	総合館共西04	隔年開講	○
		EE32000	言語教育設計学2	Instructional Design for Language Education 2	2	講義		柳瀬陽介	N				隔年開講	○
		EE33000	外国語教育測定評価論1	Assessment of Foreign Language Learning 1	2	講義		金丸敏幸	後期	水	2	総合館216演習室	隔年開講	○
		EE34000	外国語教育測定評価論2	Assessment of Foreign Language Learning 2	2	講義		金丸敏幸	N				隔年開講	○
		EE35000	外国語教授法開発論1	Development of Foreign Language Teaching Methodology 1	2	講義		笹尾洋介	後期	木	2	吉田南1号館 1共23	隔年開講	○
		EE36000	外国語教授法開発論2	Development of Foreign Language Teaching Methodology 2	2	講義		笹尾洋介	N				隔年開講	○
学 際 知 科 目	6 東アジア文明講座	FF01000	文明動態論	Cultural Dynamics	2	講義	○	小野寺史郎	前期	水	2	総人棟1B09	文学・総人共通科目	
		FF02000	文明構造論演習	Seminar on Structure of Civilizations	2	演習	○	小野寺史郎	後期	水	2	総人棟1103	文学・総人共通科目	
		FF03000	東アジア比較思想論1	Comparative Studies of East Asian Thought 1	2	講義	○	小倉紀蔵	N					○
		FF04000	東アジア比較思想論2	Comparative Studies of East Asian Thought 2	2	講義	○	小倉紀蔵	前期	金	2	総人棟1B05	総人共通科目	○
		FF05000	多文化複合論演習1	Seminar on Complex Studies of Cultures 1	2	演習	○	小倉紀蔵	後期	木	2	総合館334演習室	総人共通科目	
		FF06000	東アジア文化交渉論1	Cultural Interaction in East Asia 1	2	講義		太田 出	前期	水	3	総人棟1104	文学・総人共通科目	○
		FF07000	東アジア文化交渉論2	Cultural Interaction in East Asia 2	2	講義		太田 出	後期	水	3	総人棟1104	文学・総人共通科目	
		FF08000	東アジア比較文芸論1	Comparative Studies of North-East Asian Arts 1	2	講義		津守 陽	前期	水	3	総人棟1B06	総人共通科目	○
		FF09000	東アジア比較文芸論2	Comparative Studies of North-East Asian Arts 2	2	講義		津守 陽	後期	水	3	総人棟1B06	総人共通科目	○
		FF10000	地域文明論演習1	Seminar in Regional Civilization 1	2	演習		太田 出	後期	木	2	総人棟1104	総人共通科目	
		FF11000	地域文明論演習2	Seminar in Regional Civilization 2	2	演習		津守 陽	前期	月	2	総人棟1306	総人共通科目	○

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
		FF12000	歴史文化社会論	Lecture on Social Cultural History	2	講義		佐野宏(ほか2名)	前期	集中		未定		
		FF13000	日本歴史社会論1A	Japanese Social History 1A	2	講義	○	吉江 崇	前期	木	2	総人棟1B06	文学・総人共通科目	○
		FF14000	日本歴史社会論1B	Japanese Social History 1B	2	講義	○	吉江 崇	後期	木	2	総人棟1B05	文学・総人共通科目	○
		FF15000	日本歴史社会論2A	Japanese Social History 2A	2	講義	○	熊谷 隆之	前期	木	3	総人棟1102	総人共通科目	○
		FF16000	日本歴史社会論2B	Japanese Social History 2B	2	講義	○	熊谷 隆之	後期	木	3	総人棟1B09	総人共通科目	○
		FF17000	歴史社会論演習1A	Seminar on Social History 1A	2	演習	○	吉江 崇	前期	金	3	総合館216演習室	総人共通科目	○
		FF18000	歴史社会論演習1B	Seminar on Social History 1B	2	演習	○	吉江 崇	後期	金	3	総合館216演習室	総人共通科目	○
		FF19000	歴史社会論演習2A	Seminar on Social History 2A	2	演習	○	熊谷 隆之	前期	火	3	総合館334演習室		○
		FF20000	歴史社会論演習2B	Seminar on Social History 2B	2	演習	○	熊谷 隆之	後期	火	3	総合館334演習室		○
		FF21000	中国社会論1A	Chinese History and Society 1A	2	講義		辻 正博	前期	水	2	総合館216演習室	文学・総人共通科目	
		FF22000	中国社会論1B	Chinese History and Society 1B	2	講義		辻 正博	後期	水	2	総合館475演習室	文学・総人共通科目	
		FF23000	中国社会論2A	Chinese History and Society 2A	2	講義		福谷 彬	前期	木	2	総人棟1B07	総人共通科目	
		FF24000	中国社会論2B	Chinese History and Society 2B	2	講義		福谷 彬	後期	木	2	総人棟1B07	総人共通科目	
		FF25000	中国文化論1A	Chinese Culture 1A	2	講義		松江 崇	前期	火	3	総合館475演習室	文（院）共通科目	○
		FF26000	中国文化論1B	Chinese Culture 1B	2	講義		松江 崇	後期	火	3	総合館475演習室	文（院）共通科目	○
		FF27000	中国文化論2A	Chinese Culture 2A	2	講義		道坂昭廣	前期	火	2	総合館475演習室	文学共通科目	○
		FF28000	中国文化論2B	Chinese Culture 2B	2	講義		道坂昭廣	後期	火	2	総合館475演習室	文学共通科目	○
		FF29000	日本文化表現論1A	Lecture on Expression of Japanese Culture 1A	2	講義	○	佐野 宏	前期	木	2	総合館共北38	文学・総人共通科目	○
		FF30000	日本文化表現論1B	Lecture on Expression of Japanese Culture 1B	2	講義	○	佐野 宏	後期	木	2	総合館共北38	文学・総人共通科目	○
		FF31000	日本文化表現論2A	Lecture on Expression of Japanese Culture 2A	2	講義	○	長谷川千尋	前期	水	3	総人棟1B05	文学・総人共通科目	○
		FF32000	日本文化表現論2B	Lecture on Expression of Japanese Culture 2B	2	講義	○	長谷川千尋	後期	水	3	総人棟1B05	文学・総人共通科目	○
		FF33000	日本文化表現論3A	Lecture on Expression of Japanese Culture 3A	2	講義		須田千里	前期	水	4	総人棟1102	文学・総人共通科目	○
		FF34000	日本文化表現論3B	Lecture on Expression of Japanese Culture 3B	2	講義		須田千里	後期	水	4	総人棟1102	文学・総人共通科目	○
		FF35000	日本文化表現論4A	Lecture on Expression of Japanese Culture 4A	2	講義		岡崎友子	前期	木	1	文学部校舎第2演習室	文学・総人共通科目	
		FF36000	日本文化表現論4B	Lecture on Expression of Japanese Culture 4B	2	講義		岡崎友子	後期	木	1	文学部校舎第2演習室	文学・総人共通科目	
		FF37000	人文情報学A	Informatics in Humanities A	2	講義		安岡孝一	前期	月	4	人環棟535演習室	文（院）共通科目	
		FF38000	人文情報学B	Informatics in Humanities B	2	講義		安岡孝一	後期	月	4	人環棟535演習室	文（院）共通科目	
		FF39000	東アジア人文情報学A	Advanced Topics in East Asian Information A	2	講義		ウイッテルン, クリ スティアン	前期	水	3	人環棟333演習室		
		FF40000	東アジア人文情報学B	Advanced Topics in East Asian Information B	2	講義		ウイッテルン, クリ スティアン	後期	水	3	人環棟333演習室		
		FF41000	東アジア文献論A	Philology of East Asia A	2	講義		宮宅 潔	前期	月	2	人文研本館 1 F 講義室		
		FF42000	東アジア文献論B	Philology of East Asia B	2	講義		宮宅 潔	後期	月	2	人文研本館 1 F 講義室		
		FF43000	東アジア文化論演習1A	Seminar on East Asian Culture 1A	2	演習		松江 崇	前期	水	4	総合館475演習室		○
		FF44000	東アジア文化論演習1B	Seminar on East Asian Culture 1B	2	演習		松江 崇	後期	水	4	総合館475演習室		○
		FF45000	東アジア文化論演習2A	Seminar on East Asian Culture 2A	2	演習		道坂昭廣	前期	木	3	総合館409演習室	総人共通科目	○
		FF46000	東アジア文化論演習2B	Seminar on East Asian Culture 2B	2	演習		道坂昭廣	後期	木	3	総合館409演習室	総人共通科目	○
		FF47000	東アジア文化論演習3A	Seminar on East Asian Culture 3A	2	演習	○	辻 正博	前期	水	3	総合館475演習室	総人共通科目	○
		FF48000	東アジア文化論演習3B	Seminar on East Asian Culture 3B	2	演習	○	辻 正博	後期	水	3	総合館475演習室	総人共通科目	○
		FF49000	東アジア文化論演習4A	Seminar on East Asian Culture 4A	2	演習	○	佐野 宏	前期	火	2	総合館334演習室	総人共通科目	○
		FF50000	東アジア文化論演習4B	Seminar on East Asian Culture 4B	2	演習	○	佐野 宏	後期	火	2	総合館334演習室	総人共通科目	○
		FF51000	東アジア文化論演習5A	Seminar on East Asian Culture 5A	2	演習	○	福谷 彬	前期	月	5	総人棟1104	総人共通科目	
		FF52000	東アジア文化論演習5B	Seminar on East Asian Culture 5B	2	演習	○	福谷 彬	後期	月	5	総人棟1104	総人共通科目	
		FF53000	東アジア文化論演習6A	Seminar on East Asian Culture 6A	2	演習	○	須田千里	前期	水	5	総人棟1103	総人共通科目	○
		FF54000	東アジア文化論演習6B	Seminar on East Asian Culture 6B	2	演習	○	須田千里	後期	水	5	総人棟1103	総人共通科目	○
		FF55000	東アジア文化論演習7A	Seminar on East Asian Culture 7A	2	演習	○	長谷川千尋	前期	月	3	総合館334演習室	総人共通科目	○
		FF56000	東アジア文化論演習7B	Seminar on East Asian Culture 7B	2	演習	○	長谷川千尋	後期	月	3	総合館334演習室	総人共通科目	○
		FF57000	東アジア文化論演習8A	Seminar on East Asian Culture 8A	2	演習		峯村至津子	前期	木	3	文学部校舎第 1 講義室	文学・総人共通科目	
		FF58000	東アジア文化論演習8B	Seminar on East Asian Culture 8B	2	演習		峯村至津子	後期	木	3	文学部校舎第 1 講義室	文学・総人共通科目	
		FF59000	生活造形分析論	Analytics on Life Modeling	2	講義		永島明子	前期	火	2	京都国立博物館		
		FF60000	中世・近世芸術比較論1	Comparison of Medieval and Modern Arts 1	2	講義		山川 暁	N					
		FF61000	中世・近世芸術比較論2	Comparison of Medieval and Modern Arts 2	2	講義		山川 暁	前期	火	4	京都国立博物館		
		FF62000	文化財保存・展示技術論	Cultural Assets Preservation and Display Techniques	2	講義			N					
		FF63000	宗教美術調査法論	Research Methods for Religious Art	2	講義		大原嘉豊	前期	月	4	京都国立博物館		○

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
		FF64000	有形文化財調査法論1	Methodologies for the Study of Tangible Cultural Properties 1	2	講義		尾野善裕	N					
		FF65000	有形文化財調査法論2	Methodologies for the Study of Tangible Cultural Properties 2	2	講義		尾野善裕	前期	月	2	人環棟535演習室		
		FF66000	博物館文化財学演習1	Seminar on Cultural Assets of Museums 1	2	演習		尾野善裕、山川 暁、大原嘉豊、永島明子	前期	集中		京都国立博物館	8月・フィードバック期間終了後に開講予定	
		FF67000	博物館文化財学演習2	Seminar on Cultural Assets of Museums 2	2	演習		尾野善裕、山川 暁、大原嘉豊、永島明子	後期	火	4・5	京都国立博物館	隔週で開講予定	
学 際 知 科 目	7 共 生 世 界 講 座	GG01000	法システム原論	Foundations of Legal System	2	講義		菊池亨輔	前期	木	2	総合館409演習室		
		GG02000	法システム原論演習	Seminar on Foundations of Legal System	2	演習	○	菊池亨輔	後期	木	2	総合館409演習室		
		GG03000	社会・経済・統計論1	Seminar on Socio-Economics 1	2	講義		柴山桂太	後期	木	3	人環棟533演習室		
		GG04000	社会・経済・統計論2	Seminar on Socio-Economics 2	2	講義	○	大黒弘慈	前期	金	4	総人棟1103	総人共通科目	○
		GG05000	現代社会論演習1	Seminar on Modern Social Theory 1	2	演習	○	柴山桂太	前期	木	3	人環棟533演習室		
		GG06000	現代社会論演習2	Seminar on Modern Social Theory 2	2	演習	○	大黒弘慈	後期	金	4	総人棟1103	総人共通科目	
		GG07000	国際政治論1	International Politics 1	2	講義	○	齋藤嘉臣	N					○
		GG08000	国際政治論2	International Politics 2	2	講義	○	齋藤嘉臣	N					○
		GG09000	多文化社会論1	Lecture on Multicultural Society 1	2	講義		藤岡真樹	前期	水	2	総人棟1207	総人共通科目	
		GG10000	多文化社会論2	Lecture on Multicultural Society 2	2	講義	○	森口由香	前期	金	5	総人棟1104		○
		GG11000	国家法システム論1	Constitutional System 1	2	講義		見平 典	N					
		GG12000	国家法システム論2	Constitutional System 2	2	講義		見平 典	前期	火	4	総人棟1306	総人共通科目	
		GG13000	国際社会論演習1	Seminar on International Society 1	2	演習	○	齋藤嘉臣	後期	火	5	総人棟1306		○
		GG14000	国際社会論演習2	Seminar on International Society 2	2	演習	○	見平 典	後期	火	4	総人棟1306	総人共通科目	
		GG15000	国際社会論演習3	Seminar on International Society 3	2	演習	○	森口由香	後期	金	5	総人棟1104		○
		GG16000	ポストコロニアル思想文化論1	Studies on Postcolonial Thought and Cultures 1	2	講義		小倉紀蔵	N					○
		GG17000	ポストコロニアル思想文化論2	Studies on Postcolonial Thought and Cultures 2	2	講義		小倉紀蔵	N					○
		GG18000	近代移民史1	Modern Immigration History 1	2	講義		徳永 悠	N					
		GG19000	近代移民史2	Modern Immigration History 2	2	講義		徳永 悠	後期	木	2	総合館101演習室	総人共通科目	
		GG20000	文明交流論演習1A	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 1A	2	演習			N					
		GG21000	文明交流論演習1B	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 1B	2	演習			N					
		GG22000	文明交流論演習3A	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 3A	2	演習	○	徳永 悠	前期	金	3	総合館409演習室	総人共通科目	
		GG23000	文明交流論演習3B	Seminar on Studies in Interchange of Civilizations 3B	2	演習	○	徳永 悠	後期	金	3	総合館409演習室	総人共通科目	
		GG24000	欧米歴史社会論1A	Social History of Europe and America 1A	2	講義		合田昌史	前期	火	3	総合館共北3B	総人共通科目	○
		GG25000	欧米歴史社会論1B	Social History of Europe and America 1B	2	講義		合田昌史	後期	火	3	総合館共北3B	総人共通科目	○
		GG26000	欧米歴史社会論2A	Social History of Europe and America 2A	2	講義		佐藤公美	前期	金	3	総人棟1B06	文学・総人共通科目	○
		GG27000	欧米歴史社会論2B	Social History of Europe and America 2B	2	講義		佐藤公美	後期	金	3	総人棟1103	文学・総人共通科目	○
		GG28000	Contemporary and Modern History I	Contemporary and Modern History I	2	講義		バッテリー・カムラカル	前期	木	3	総人棟1B05	総人共通科目	
		GG29000	Contemporary and Modern History II	Contemporary and Modern History II	2	講義		バッテリー・カムラカル	後期	木	3	総人棟1B05	総人共通科目	
		GG30000	歴史社会論演習3A	Seminar on Social History 3A	2	演習	○	佐藤公美	前期	金	5	総人棟1B06	文学・総人共通科目	
		GG31000	歴史社会論演習3B	Seminar on Social History 3B	2	演習	○	佐藤公美	後期	金	5	総人棟1103	文学・総人共通科目	
		GG32000	歴史社会論演習4A	Seminar on Social History 4A	2	演習	○	合田昌史	前期	水	3	総合館共北35	総人共通科目	
		GG33000	歴史社会論演習4B	Seminar on Social History 4B	2	演習	○	合田昌史	後期	水	3	総合館共北35	総人共通科目	
		GG34000	社会制度論1	Social Institutions 1	2	講義		佐野 亘	前期	金	4	人環棟331共同研究室		
		GG35000	社会制度論2	Social Institutions 2	2	講義		佐野 亘	N					
		GG36000	社会環境制度評価論1	Environmental Valuations 1	2	講義		浅野耕太	前期	水	4	人環棟331共同研究室		
		GG37000	社会環境制度評価論2	Environmental Valuations 2	2	講義		浅野耕太	N					
		GG38000	社会法システム論1（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	Law and Social System 1(Support Theory and Applications in Industry and Work Area)	2	講義		小畑史子	前期	火	4	人環棟333演習室		
		GG39000	社会法システム論2（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	Law and Social System 2(Support Theory and Applications in Industry and Work Area)	2	講義		小畑史子	N					
		GG40000	共生社会環境論演習1A	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 1A	2	演習	○	小畑史子	前期	月	3	人環棟333演習室		
		GG41000	共生社会環境論演習1B	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 1B	2	演習	○	小畑史子	後期	月	3	人環棟333演習室		
		GG42000	共生社会環境論演習2A	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 2A	2	演習	○	浅野耕太	前期	金	5	人環棟333演習室		
		GG43000	共生社会環境論演習2B	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 2B	2	演習	○	浅野耕太	後期	金	4	人環棟331共同研究室		
		GG44000	共生社会環境論演習3A	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 3A	2	演習	○	佐野 亘	前期	火	5	人環棟331共同研究室		
		GG45000	共生社会環境論演習3B	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 3B	2	演習	○	佐野 亘	後期	火	5	人環棟331共同研究室		
		GG46000	イギリス近現代文化論4A	Early Modern British Culture 4A	2	講義			N					
		GG47000	イギリス近現代文化論4B	Early Modern British Culture 4B	2	講義			N					
		GG48000	西欧文化論演習4A	Seminar on Western European Culture 4A	2	演習			N					

科目区分		R5講義コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業形態	複数履修	授業担当者	開講期	曜日	時限	場所	備考	教職科目
学際知科目	8	GG49000	西欧文化論演習4B	Seminar on Western European Culture 4B	2	演習			N					
		GG50000	社会構想論1	Studies of Social Vision 1	2	講義		広井良典	前期	火	4	人環棟233演習室		
		GG51000	社会構想論2	Studies of Social Vision 2	2	講義		広井良典	N					
		GG52000	共生社会環境論演習4A	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 4A	2	演習	○	広井良典	前期	水	3	総合館334演習室		
		GG53000	共生社会環境論演習4B	Seminar on Symbiotic Socio-Environmental Systems 4B	2	演習	○	広井良典	後期	水	3	総合館334演習室		
	文化・地域環境講座	HH01000	文化・地域環境方法論	Methodology of Cultural, Areal, and Environmental Studies	2	講義		文化・地域環境論講座教員	前期	水	6	人環棟433演習室		
		HH02000	身体感覚論1	Anthropology of the Senses 1	2	講義		風間計博	前期	金	2	総合館334演習室		
		HH03000	身体感覚論2	Anthropology of the Senses 2	2	講義		岩谷彩子	後期	金	2	総人棟1207		
		HH04000	文化実践論1	Theories of Cultural Practice 1	2	講義		デ・アントーニ、アンドレア	後期	木	3	総人棟1B07	総人共通科目	
		HH05000	文化実践論2	Theories of Cultural Practice 2	2	講義		石井美保	前期	月	2	人文研講義室セミナー室2	総人共通科目	
		HH06000	文化人類学演習1A	Seminar of Cultural Anthropology 1A	2	演習		岩谷彩子	前期	金	3	総人棟1207		
		HH07000	文化人類学演習1B	Seminar of Cultural Anthropology 1B	2	演習		岩谷彩子	後期	金	3	総人棟1207		
		HH08000	文化人類学演習2A	Seminar of Cultural Anthropology 2A	2	演習		風間計博	前期	金	5	総人棟1207		○
		HH09000	文化人類学演習2B	Seminar of Cultural Anthropology 2B	2	演習		風間計博	後期	金	5	総人棟1207		○
		HH10000	文化人類学演習3A	Seminar of Cultural Anthropology 3A	2	演習		デ・アントーニ、アンドレア	前期	金	6	総人棟1207		
		HH11000	文化人類学演習3B	Seminar of Cultural Anthropology 3B	2	演習		デ・アントーニ、アンドレア	後期	金	6	総人棟1207		
		HH12000	文化人類学演習4A	Seminar of Cultural Anthropology 4A	2	演習		石井美保	前期	金	4	総人棟1306		
		HH13000	文化人類学演習4B	Seminar of Cultural Anthropology 4B	2	演習		石井美保	後期	金	4	総人棟1104		
		HH14000	地域構造論1	Regional Structure 1	2	講義	○	山村亜希	N				隔年開講、総人共通科目	○
		HH15000	地域構造論2	Regional Structure 2	2	講義	○	山村亜希	前期	水	2	人環棟地下大講義室	隔年開講、総人共通科目	○
		HH16000	地域形成論1	Regional Formation 1	2	講義		小島泰雄	N				隔年開講、文学・総人共通科目	○
		HH17000	地域形成論2	Regional Formation 2	2	講義		小島泰雄	前期	火	2	人環棟433演習室	隔年開講、文学・総人共通科目	○
		HH18000	空間情報論1	Spatial Information 1	2	講義		村中亮夫	前期	月	1	学術情報メディアセンター南館303	総人共通科目	
		HH19000	空間情報論2	Spatial Information 2	2	講義			N					
		HH20000	歴史地域論	Historical Regions	2	講義			N				隔年開講 総人共通科目	
		HH21000	経済空間論	Economic Regions	2	講義		香川雄一	前期	集中			隔年開講 総人共通科目	
		HH22000	地域空間論演習1	Seminar on Region, Space and Environment 1	2	演習	○	小島泰雄、山村亜希	前期	火	4・5	人環棟地下大講義室		○
		HH23000	地域空間論演習2	Seminar on Region, Space and Environment 2	2	演習	○	小島泰雄、山村亜希	後期	火	4・5	人環棟地下大講義室		○
		HH24000	地域空間論演習3	Seminar on Region, Space and Environment 3	2	演習	○	小島泰雄	後期	火	2	人環棟437	文学共通科目	○
		HH25000	地域空間論演習4	Seminar on Region, Space and Environment 4	2	演習	○	山村亜希	後期	水	2	人環棟333演習室	総人共通科目	○
		HH26000	環境造形論1	Theory and History of Environmental Design 1	2	講義		中嶋節子	前期	水	2	人環棟433演習室	総人共通科目	○
		HH27000	環境造形論2	Theory and History of Environmental Design 2	2	講義		中嶋節子	N					○
		HH28000	生活環境構成論1	Construction of Life-Environment 1	2	講義		前田昌弘	前期	水	3	人環棟433演習室	総人共通科目	○
		HH29000	生活環境構成論2	Construction of Life-Environment 2	2	講義		前田昌弘	N					○
		HH30000	東洋建築史論1	History of Architecture in East Asia 1	2	講義			N					
		HH31000	東洋建築史論2	History of Architecture in East Asia 2	2	講義			N					
		HH32000	環境風土論1	Ethno-environmental Studies 1	2	講義		井原緑	前期	月	4	総人棟1103	総人共通科目	
		HH33000	環境風土論2	Ethno-environmental Studies 2	2	講義			N					
		HH34000	環境風土論演習1	Seminar in Ethno-environmental Studies 1	2	演習	○	井原緑	後期	月	3・4	総人棟1103	隔週 総人共通科目	
		HH35000	環境風土論演習2	Seminar in Ethno-environmental Studies 2	2	演習	○		N					
		HH36000	東洋建築史論演習1	Seminar in History of Architecture in East Asia 1	2	演習	○		N					
		HH37000	東洋建築史論演習2	Seminar in History of Architecture in East Asia 2	2	演習	○		N					
		HH38000	生活環境構成論演習1	Seminar in Construction of Life-Environment 1	2	演習	○	前田昌弘	後期	水	3	人環棟433演習室	総人共通科目	
		HH39000	生活環境構成論演習2	Seminar in Construction of Life-Environment 2	2	演習	○	前田昌弘	N					
		HH40000	環境造形論演習1	Seminar on Environmental Design 1	2	演習	○	中嶋節子	後期	水	2	人環棟433演習室	総人共通科目	
		HH41000	環境造形論演習2	Seminar on Environmental Design 2	2	演習	○	中嶋節子	N					
		HH42000	環境構成論演習A	Seminar on Structure of Environment A	2	演習	○	中嶋節子・前田昌弘	前期	木	2・3	人環棟433演習室	隔週 総人共通科目	
		HH43000	環境構成論演習B	Seminar on Structure of Environment B	2	演習	○	中嶋節子・前田昌弘	後期	木	2・3	人環棟433演習室	隔週 総人共通科目	
		HH44000	保存科学論1	Conservation Science 1	2	講義		脇谷草一郎	N					
		HH45000	保存科学論2	Conservation Science 2	2	講義		脇谷草一郎	前期	未定		未定		
		HH46000	環境考古学論1	Environmental Archaeology 1	2	講義		山崎 健	N					
		HH47000	環境考古学論2	Environmental Archaeology 2	2	講義		山崎 健	前期	金	3・4	人環棟533演習室	隔週	
		HH48000	史料学論1	Historical-Records Study 1	2	講義		馬場 基	後期	金	4・5	人環棟233演習室	隔週	○
		HH49000	史料学論2	Historical-Records Study 2	2	講義		馬場 基	N					○

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
		HH50000	原始・古代精神文化論	Lecture on Spiritual Culture of the Primitive and Ancient Ages	2	講義		玉田芳英	前期	水	3・4	人環棟535演習室	隔週	
		HH51000	埋蔵文化財調査・研究・保護論	Lecture on research, study, and protection on buried cultural property	2	講義		清野 孝之	前期	火	3・4	2号館105室	隔週	
		HH52000	文化遺産学演習1A	Seminar in Studies of Cultural Heritage 1A	2	演習		清野 孝之	前期	木	2・3	奈良文化財研究所	隔週	
		HH53000	文化遺産学演習1B	Seminar in Studies of Cultural Heritage 1B	2	演習		清野 孝之	後期	木	2・3	奈良文化財研究所	隔週	
		HH54000	文化遺産学演習2A	Seminar in Studies of Cultural Heritage 2A	2	演習		玉田芳英	前期	木	3・4	人環棟535演習室	隔週	
		HH55000	文化遺産学演習2B	Seminar in Studies of Cultural Heritage 2B	2	演習		玉田芳英	後期	木	3・4	人環棟535演習室	隔週	
		HH56000	文化遺産学演習3A	Seminar in Studies of Cultural Heritage 3A	2	演習		馬場 基	前期	未定		奈良文化財研究所		○
		HH57000	文化遺産学演習3B	Seminar in Studies of Cultural Heritage 3B	2	演習		馬場 基	後期	未定		奈良文化財研究所		○
		HH58000	文化遺産学演習4A	Seminar in Studies of Cultural Heritage 4A	2	演習		山崎 健	前期	未定		奈良文化財研究所		
		HH59000	文化遺産学演習4B	Seminar in Studies of Cultural Heritage 4B	2	演習		山崎 健	後期	未定		奈良文化財研究所		
		HH60000	文化遺産学演習5A	Seminar in Studies of Cultural Heritage 5A	2	演習		脇谷草一郎	前期	未定		奈良文化財研究所		
		HH61000	文化遺産学演習5B	Seminar in Studies of Cultural Heritage 5B	2	演習		脇谷草一郎	後期	未定		奈良文化財研究所		
学 際 知 科 目	9 物 質 科 学 講 座	I101000	分子変換環境論1	Molecular Chemistry of Organic Transformation 1	2	講義		藤田健一	前期	水	2	総合館334演習室		
		I102000	分子変換環境論2	Molecular Chemistry of Organic Transformation 2	2	講義		藤田健一	後期	水	2	総合館334演習室		○
		I103000	分子生体相關論	Structure and Function of Biomolecules	2	講義		小松直樹	後期	月	2	人環棟233演習室		○
		I104000	分子環境影響論1	Studies on Organic Molecules-Generated Environments 1	2	講義		津江広人	後期	木	2	人環棟533演習室		○
		I105000	分子環境影響論2	Studies on Organic Molecules-Generated Environments 2	2	講義		廣戸 聡	前期	木	2	人環棟533演習室		○
		I106000	分子環境相關論演習1	Seminar in Division of Organic Molecular Environments 1	2	演習	○	津江広人、小松直樹、藤田健一、廣戸 聡	前期	火	1	人環棟433演習室		○
		I107000	分子環境相關論演習2	Seminar in Division of Organic Molecular Environments 2	2	演習	○	津江広人、小松直樹、藤田健一、廣戸 聡	後期	火	1	人環棟433演習室		○
		I108000	物質相關論総論	General Aspects of Materials Correlations	2	講義		物質相關論講座教員	前期	月	5	人環棟333演習室		
		I109000	素粒子物性相關論1	Particle Properties and Fundamental Physics 1	2	講義		舟橋春彦	前期	金	3	2号館403演習室		
		I110000	素粒子物性相關論2	Particle Properties and Fundamental Physics 2	2	講義		舟橋春彦	N					
		I111000	強相關電子物性論1	Strongly Correlated Electron Systems 1	2	講義		藤原直樹	N					○
		I112000	強相關電子物性論2	Strongly Correlated Electron Systems 2	2	講義		藤原直樹	前期	火	2	人環棟233演習室		○
		I113000	光・物質相關論1	Atomic, Molecular and Optical Physics 1	2	講義		木下俊哉	前期	火	5	3号館206研究室		○
		I114000	光・物質相關論2	Atomic, Molecular and Optical Physics 2	2	講義		木下俊哉	N					○
		I115000	量子物性基礎論1	Quantum Theory of Condensed Matter Physics 1	2	講義		森成隆夫	N					○
		I116000	量子物性基礎論2	Quantum Theory of Condensed Matter Physics 2	2	講義		森成隆夫	前期	火	5	2号館325研究室		○
		I117000	固体電子構造論1	Electronic Structure of Condensed Matter 1	2	講義		吉田鉄平	前期	水	3	総人棟1207		○
		I118000	固体電子構造論2	Electronic Structure of Condensed Matter 2	2	講義		吉田鉄平	N					○
		I119000	低次元物質科学論1	Low-dimensional Material Science1	2	講義		高木紀明	N					
		I120000	低次元物質科学論2	Low-dimensional Material Science2	2	講義		高木紀明	前期	木	2	人環棟233演習室		
		I121000	物質物性相關論演習1A	Studies on Material Properties and Correlations 1A	2	演習		高木紀明	後期	木	2	人環棟233演習室		
		I122000	物質物性相關論演習1B	Studies on Material Properties and Correlations 1B	2	演習		高木紀明	N					
		I123000	物質物性相關論演習2A	Studies on Material Properties and Correlations 2A	2	演習		舟橋春彦	N					
		I124000	物質物性相關論演習2B	Studies on Material Properties and Correlations 2B	2	演習		舟橋春彦	後期	金	3	2号館322室		
		I125000	物質物性相關論演習3A	Studies on Material Properties and Correlations 3A	2	演習		藤原直樹	N					○
		I126000	物質物性相關論演習3B	Studies on Material Properties and Correlations 3B	2	演習		藤原直樹	後期	火	2	人環棟233演習室		○
		I127000	物質物性相關論演習4A	Studies on Material Properties and Correlations 4A	2	演習		木下俊哉	N					
		I128000	物質物性相關論演習4B	Studies on Material Properties and Correlations 4B	2	演習		木下俊哉	N					
		I129000	物質物性相關論演習4C	Studies on Material Properties and Correlations 4C	2	演習		木下俊哉	前期	月	2	3号館206研究室		
		I130000	物質物性相關論演習4D	Studies on Material Properties and Correlations 4D	2	演習		木下俊哉	後期	月	5	3号館206研究室		
		I131000	物質物性相關論演習5A	Studies on Material Properties and Correlations 5A	2	演習		森成隆夫	N					○
		I132000	物質物性相關論演習5B	Studies on Material Properties and Correlations 5B	2	演習		森成隆夫	後期	火	5	2号館325研究室		○
		I133000	物質物性相關論演習6A	Studies on Material Properties and Correlations 6A	2	演習		吉田鉄平	N					○
		I134000	物質物性相關論演習6B	Studies on Material Properties and Correlations 6B	2	演習		吉田鉄平	後期	水	3	総人棟1306		○
		I135000	エネルギー物質変換論1	Energy and Material Change 1	2	講義		内本喜晴	後期	月	1	人環棟333演習室		○
		I136000	エネルギー物質変換論2	Energy and Material Change 2	2	講義		内本喜晴	N					○
		I137000	光機能性材料設計論1	Design of Functional Photonic Materials 1	2	講義		田部勢津久	後期	水	5	人環棟433演習室		○
		I138000	光機能性材料設計論2	Design of Functional Photonic Materials 2	2	講義		田部勢津久	N					○
		I139000	材料プロセス論1	Materials Processing 1	2	講義		中村敏浩	N					
		I140000	材料プロセス論2	Materials Processing 2	2	講義		中村敏浩	後期	火	2	2号館105室		
		I141000	触媒設計論1	Catalysis Design 1	2	講義		吉田寿雄	前期	水	2	人環棟233演習室		
		I142000	触媒設計論2	Catalysis Design 2	2	講義		吉田寿雄	N					

科目区分		R5講義 コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業 形態	複数 履修	授業担当者	開 講 期	曜 日	時 限	場所	備考	教職 科目
学 際 知 科 目	1 0 地 球 ・ 生 命 環 境 講 座	I143000	物質機能相關論演習1A	Seminar in Material Functions and Correlations 1A	2	演習		内本喜晴	N					○
		I144000	物質機能相關論演習1B	Seminar in Material Functions and Correlations 1B	2	演習		内本喜晴	N					○
		I145000	物質機能相關論演習1C	Seminar in Material Functions and Correlations 1C	2	演習		内本喜晴	前期	月	2	人環棟333演習室		○
		I146000	物質機能相關論演習1D	Seminar in Material Functions and Correlations 1D	2	演習		内本喜晴	後期	月	2	人環棟333演習室		○
		I147000	物質機能相關論演習2A	Seminar in Material Functions and Correlations 2A	2	演習		田部勢津久	N					○
		I148000	物質機能相關論演習2B	Seminar in Material Functions and Correlations 2B	2	演習		田部勢津久	N					○
		I149000	物質機能相關論演習2C	Seminar in Material Functions and Correlations 2C	2	演習		田部勢津久	前期	水	1	人環棟533演習室		○
		I150000	物質機能相關論演習2D	Seminar in Material Functions and Correlations 2D	2	演習		田部勢津久	後期	水	1	人環棟533演習室		○
		I151000	物質機能相關論演習3A	Seminar in Material Functions and Correlations 3A	2	演習		中村敏浩	N					
		I152000	物質機能相關論演習3B	Seminar in Material Functions and Correlations 3B	2	演習		中村敏浩	N					
		I153000	物質機能相關論演習3C	Seminar in Material Functions and Correlations 3C	2	演習		中村敏浩	前期	金	2	2号館105室		
		I154000	物質機能相關論演習3D	Seminar in Material Functions and Correlations 3D	2	演習		中村敏浩	後期	金	2	2号館105室		
		I155000	物質機能相關論演習4A	Seminar in Material Functions and Correlations 4A	2	演習		吉田寿雄	N					
		I156000	物質機能相關論演習4B	Seminar in Material Functions and Correlations 4B	2	演習		吉田寿雄	N					
		I157000	物質機能相關論演習4C	Seminar in Material Functions and Correlations 4C	2	演習		吉田寿雄	前期	水	5	人環棟333演習室		
		I158000	物質機能相關論演習4D	Seminar in Material Functions and Correlations 4D	2	演習		吉田寿雄	後期	水	5	人環棟333演習室		
	学 際 知 科 目	JJ01000	生命環境共生論1	Interactions between Life and the Environment 1	2	講義		土屋 徹	前期	火	2	総人棟1304		○
		JJ02000	生命環境共生論2	Interactions between Life and the Environment 2	2	講義		宮下英明	後期	火	2	総人棟1306	森里海連環学教育ユニット 共通科目	○
		JJ03000	生体機能相關論	Interdisciplinary Studies on Biofunction	2	講義		川本卓男	後期	木	3	放同セ3 F 講義室		○
		JJ04000	生命環境相關論演習1	Seminar in Environmental Molecular Life Science 1	2	演習	○	宮下英明、川本卓男、土屋徹	前期	水	3	各研究室		○
		JJ05000	生命環境相關論演習2	Seminar in Environmental Molecular Life Science 2	2	演習	○	宮下英明、川本卓男、土屋徹	後期	水	3	各研究室		○
		JJ06000	生物多様性科学1	Biodiversity Science 1	2	講義		西川完途	N				隔年開講	○
		JJ07000	生物多様性科学2	Biodiversity Science 2	2	講義		瀬戸口浩彰	前期	水	2	吉田南2号館3階 生物実習室1	隔年開講 総人共通科目	○
		JJ08000	生物環境動態論	Biological Environmental Dynamics	2	講義		市岡孝朗	前期	火	5	人環棟233演習室		○
		JJ09000	ウイルス多様性科学	Virus Diversity	4	講義	○	三浦智行	通年	水	3	医生研2号館104		
		JJ10000	植物多様性科学演習1	Exercises in Biodiversity Science of Plants 1	2	演習	○	瀬戸口浩彰	前期	火	4	2号館403演習室	総人共通科目	
		JJ11000	植物多様性科学演習2	Exercises in Biodiversity Sciences of Plants 2	2	演習	○	瀬戸口浩彰	後期	火	4	2号館403演習室	総人共通科目	
		JJ12000	生物環境動態論演習1	Seminar on Biological Environmetnal Dynamics 1	2	演習	○	市岡孝朗、西川完途	前期	木	2	人環棟地下大講義室	総人共通科目	○
		JJ13000	生物環境動態論演習2	Seminar on Biological Environmetnal Dynamics 2	2	演習	○	市岡孝朗、西川完途	後期	木	2	人環棟地下大講義室	総人共通科目	○
		JJ14000	ウイルス多様性科学演習1	Seminar in Virus Diversity 1	2	演習	○	三浦智行	前期	木	2	医生研2号館104		
		JJ15000	ウイルス多様性科学演習2	Seminar in Virus Diversity 2	2	演習	○	三浦智行	後期	木	2	医生研2号館104		
		JJ16000	地球環境物質学1	Earth Material Science 1	2	講義		小木曽 哲	前期	月	5	人環棟306実験室		○
		JJ17000	地球環境物質学2	Earth Material Science 2	2	講義		石村 豊穂	前期	金	5	人環棟410実験室		○
		JJ18000	地球圏動態学	Dynamics of Earth Environment	2	講義		加藤 護	後期	月	5	未定		
		JJ19000	大気化学1	Atmospheric Chemistry 1	2	講義		梶井克純	前期	水	2	総合館332演習室		
		JJ20000	大気化学2	Atmospheric Chemistry 2	2	講義		梶井克純	後期	水	2	総合館332演習室		
		JJ21000	地球環境物質学（内部）演習1	Seminar in Earth Material Science (Earth's interior) 1	2	演習	○	小木曽 哲	前期	水	5	2号館403演習室		○
		JJ22000	地球環境物質学（内部）演習2	Seminar in Earth Material Science (Earth's interior) 2	2	演習	○	小木曽 哲	後期	水	5	2号館403演習室		○
		JJ23000	地球環境物質学（表層）演習1	Seminar in Earth Material Science (surface environment) 1	2	演習	○	石村 豊穂	前期	水	5	2号館403演習室		○
		JJ24000	地球環境物質学（表層）演習2	Seminar in Earth Material Science (surface environment) 2	2	演習	○	石村 豊穂	後期	水	5	2号館403演習室		○
		JJ25000	地球圏動態学（固体圏）演習1	Seminar in Dynamics of Earth Environment 1 (Geosphere)	2	演習	○	加藤 護	前期	水	5	2号館403演習室		
		JJ26000	地球圏動態学（固体圏）演習2	Seminar in Dynamics of Earth Environment 2 (Geosphere)	2	演習	○	加藤 護	後期	水	5	2号館403演習室		
		JJ27000	大気化学演習1	Exercise 1 on Atmospheric Chemistry	2	演習	○	梶井克純	前期	木	1・2	総合館332演習室		
		JJ28000	大気化学演習2	Exercise 2 on Atmospheric Chemistry	2	演習	○	梶井克純	後期	木	1・2	総合館332演習室		
特 別 科 目		KK15000	心理実践実習1	Advanced Practical Training in Psychology 1	6	実習		船曳康子、大倉得史、松本卓也、田中真介、タジャン ニコラ ビエール、朴白順	通年					
		KK16000	心理実践実習2	Advanced Practical Training in Psychology 2	6	実習		船曳康子、大倉得史、松本卓也、田中真介、タジャン ニコラ ビエール、朴白順	通年					
		KK17000	心理実践実習3	Advanced Practical Training in Psychology 3	3	実習		船曳康子、大倉得史、松本卓也、田中真介、タジャン ニコラ ビエール、朴白順	通年					
		KK18000	国際交流実習1	Cross-cultural Studies Through English 1	2	実習		ディプレクト、マシュージョセフ	前期	火	4	人環棟433演習室		
		KK19000	国際交流実習2	Cross-cultural Studies Through English 2	2	実習		ディプレクト、マシュージョセフ	後期	火	4	人環棟433演習室		
		KK20000	総合フィールド特別演習	Advanced Exercise on Field Natural Sciences	2	演習		宮下英明 他	前期	集中		未定	総人共通科目	
		KK21000	先端化学物質科学	Advanced Chemistry and Materials Science	2	講義		化学系教員	前期	火	5	人環棟433演習室	リレー講義	
		KK02000	学術越境基礎1	Fundamentals for Transdisciplinary Research 1	2	講義		上木直昌 他	前期	金	1	総人棟1805	総人共通科目	

科目区分	R5講義コード	R5科目名	英文科目名	単位	授業形態	複数履修	授業担当者	開講期	曜日	時限	場所	備考	教職科目
学術越境科目	KK03000	学術越境基礎2	Fundamentals for Transdisciplinary Research 2	2	講義		菅 利恵 他	前期	火	1	人環棟地下大講義室	総人共通科目	
	KK04000	学術越境基礎3	Fundamentals for Transdisciplinary Research 3	2	講義		武田宙也 他	後期	金	1	人環棟地下大講義室	総人共通科目	
	KK05000	学術越境基礎4	Fundamentals for Transdisciplinary Research 4	2	講義		萩生翔大 他	後期	火	1	4号館4共31	総人共通科目	
	KK06000	学術越境基礎5	Fundamentals for Transdisciplinary Research 5	2	講義		堀口大樹 他	前期	金	1	総人棟1102	総人共通科目	
	KK07000	学術越境基礎6	Fundamentals for Transdisciplinary Research 6	2	講義		熊谷隆之 他	後期	水	1	総人棟1102	総人共通科目	
	KK08000	学術越境基礎7	Fundamentals for Transdisciplinary Research 7	2	講義		森口由香 他	前期	水	1	4号館4共21	総人共通科目	
	KK09000	学術越境基礎8	Fundamentals for Transdisciplinary Research 8	2	講義		小島泰雄 他	前期	月	1	総人棟1102	総人共通科目	
	KK10000	学術越境基礎9	Fundamentals for Transdisciplinary Research 9	2	講義		小松直樹 他	後期	金	2	総人棟1102	総人共通科目	
	KK11000	学術越境基礎10	Fundamentals for Transdisciplinary Research 10	2	講義		土屋 徹 他	前期	金	2	人環棟地下大講義室	総人共通科目	
	KK12000	学術越境研究計画1	Project Planning in Transdisciplinary Research 1	2	演習		指導教員	通年	その他			1回生担当	
	KK13000	学術越境研究計画2	Project Planning in Transdisciplinary Research 2	2	演習		指導教員	通年	その他			2回生担当	
研究公正科目	KK14000	研究公正チュートリアル	Tutorial for Research Integrity	0.5	演習		指導教員	通年	その他				
研究指導科目	KK22000	人間・環境学研究I	Research in Human and Environmental Studies I	4	研究		指導教員	通年	その他			1回生担当	
	KK23000	人間・環境学研究II	Research in Human and Environmental Studies II	4	研究		指導教員	通年	その他			2回生担当	
	KK24000	研究論文	Master's Thesis		論文			通年	その他				
	1001000	共生人間学研究I	Human Coexistence I	4	研究		共生人間学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	1002000	共生人間学研究II	Human Coexistence II	4	研究		共生人間学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	1003000	研究論文	Master's Thesis		論文			通年	その他			R4以前入学者用	
	2001000	共生文明学研究I	Study I in Cultural Coexistence	4	研究		共生文明学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	2002000	共生文明学研究II	Study II in Cultural Coexistence	4	研究		共生文明学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	2003000	研究論文	Master's Thesis		論文			通年	その他			R4以前入学者用	
	3001000	相關環境学研究I	Studies on interdisciplinary environment I	4	研究		相關環境学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	3002000	相關環境学研究II	Studies on interdisciplinary environment II	4	研究		相關環境学専攻教員	通年	その他			R4以前入学者用	
	3003000	研究論文	Master's Thesis		論文			通年	その他			R4以前入学者用	

知能情報学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備 考
研究指導科目	必修	8	知能情報学特殊研究1、同2
研究科共通展望科目	選択必修	2以上 4以下	
自コースセミナー科目	選択必修	4	知能情報学セミナーI, II, III, IVより 選択(注4)
自コース開設科目	選択	6以上	
合計		30以上	

(注1) 下記の表に無い、他コース開設科目・他研究科開設科目・及び大学院共通・横断教育開講科目については、指導教員の承認があれば10単位までに限り修了に必要な単位として認定される。

(注2) 下記の表でEと表記されている授業科目は英語だけでも履修できる。同一内容の日本語名の授業科目がある場合には、英語授業科目または日本語授業科目のいずれか一方のみ単位認定される。

(注3) 履修にあたっては、別途配布の「履修の手引き」を参照の上、必ず指導教員の履修指導を受けること。

(注4) 知能情報学セミナーIIおよびIVは修士2年次配当科目である。知能情報学セミナーI～IVは合計4単位まで単位認定される。

(注5) 他コース開設の推奨科目を履修した場合、自コース開設科目を履修したとみなす。

	授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考
			前	後		
研究指導科目	知能情報学特殊研究1	指導教員			2	E 必修・通年(修士1年次配当)
	知能情報学特殊研究2	指導教員			6	E 必修・通年(修士2年次配当)
研究科共通展望科目	情報学展望1	○岡部・小谷	2		2	選択必修・ 2単位以上 4単位以下
	情報学展望2	○河原 他	2		2	
	情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	
	情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	
	情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・ Douglas・Rafik		2	2	
	プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2	
	計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2	
	計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1	
	情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2	
	イノベーションと情報	前川(佳)	2		2	
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	前期・後期同内容
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2	
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	前期・後期同内容
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1	
	情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E 実習45時間
	情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E 実習45時間

コース開設科目	コース基礎科目	認知科学基礎論	○熊田・西田・佐藤(弥)・中島・水原・三好	2		2	(修士1年次配当)	
		情報科学基礎論	山本(章)・○鹿島・河原・西野・中村・森(信)	2		2	計算機科学・情報科学系出身学生は除く	
		生命情報学基礎論	○阿久津・田村・細川・前川(真)・森(智)	2		2		
	コース専門科目	認知科学演習	○神谷・熊田・西田		(2)	2	E(修士1年次配当)	
		計算論的認知神経科学	中原・佐藤(弥)・○熊田	2		2		
		パターン認識特論	○河原・西野・延原・吉井	2		2	E	
		音声情報処理特論	○河原・加藤(宏)・吉井		2	2	E	
		言語情報処理特論	黒橋・森(信)・○村脇	2		2	E	
		コンピュータビジョン	○西野・延原・Kastner	2		2	E	
		ビジュアルインタフェース	○中村・近藤		2	2		
		生命情報学特論	○阿久津・田村(武)・森(智)		2	2		
		知能情報学セミナーI	全員	2		2	E	選択必修 4単位 (上記注4)
		知能情報学セミナーII	全員	2		2	E	
		知能情報学セミナーIII	全員		2	2	E	
		知能情報学セミナーIV	全員		2	2	E	
設 他 の コ ー ス 開 設 科 目	計算論的学習理論	山本(章)	2		2			
	統計的学習理論	○鹿島・山田	2		2			

補足:○が付いている教員は科目責任者である。

※の付された科目については、指導教員の承認があれば知能情報学コースの学生の研究科修了に必要な単位として算入できる

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位		
		前	後			
インフォメーションデザイン論※	○伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
情報通信技術のデザイン※	○佐藤(高)・神田		2	2	通信情報システムコース開設科目(デザイン学領域科目)	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2	プログラム担当教員			1	後期集中	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位		
		前	後			
プラットフォーム学セミナー※	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2		

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。
知能情報学専攻科目を未修得の場合は、知能情報学コース開設の当該科目を履修すること。
令和5年度より通信情報システムコース開設科目の「コンピュータネットワーク特論(旧科目名 マルチメディア通信)」及びデータ科学コース開設科目の「計算論的学習理論」、「統計的学習理論」は知能情報学専攻開設科目として履修できる。

社会情報学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備 考
研究指導科目	必修	10	社会情報学特殊研究1、同2
研究科共通展望科目	選択必修	2	2単位以上履修した場合、増加単位となる
自コース基礎科目	必修	6	
自コース開設科目	選択	4以上	コース基礎科目を除く
合計		30以上	

(注1) 下記の表に無い、他コース開設科目・他研究科開設科目・及び大学院共通・横断教育開講科目については、指導教員の承認があれば6単位までに限り修了に必要な単位として認定される。

(注2) 半期で履修登録できる合計単位数の上限は、研究指導科目を除き14単位とする。ただし、指導教員が研究指導上必要と認める場合はこの限りではない。

(注3) 下記の表でEと表記されている授業科目は英語だけでも修得できる講義科目である。同一内容の日本語名の授業科目がある場合には、英語授業科目または日本語授業科目のいずれか一方のみ単位認定される。

	授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
			前	後			
研究指導科目	社会情報学特殊研究1	指導教員			5	E	必修・通年(修士1年次配当)
	社会情報学特殊研究2	指導教員			5	E	必修・通年(修士2年次配当)
研究科共通展望科目	情報学展望1	○岡部・小谷	2		2		選択必修2単位
	情報学展望2	○河原 他	2		2		
	情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	E	
	情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	E	
	情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・Douglas・Rafik		2	2	E	
	プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2		
	計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2		
	計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1		
	情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2		
	イノベーションと情報	前川(佳)	2		2		
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2		前期・後期同内容
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2		
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1		前期・後期同内容
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1		
	情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E	実習45時間
	情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E	実習45時間
コース開設科目	情報社会論	○大手・神田・伊藤・Even	2		2	E	(修士1年次配当) 日本語講義・英語講義を行う
	Information System Analysis	○神田・大手・松井・山内・馬・Brscic・Seo・小山・西澤	2		2	E	(修士1年次配当) 日本語の講義を実施し同じ教室で英語でのサポートも行う
	Practice of Information Systems	○神田・伊藤・蟻坂・Hadfi	(3)		2	E	(修士1年次配当) 日本語講義・英語講義を同じ教室で実施する

コース開設科目	コース専門科目	Multiagent Systems	伊藤		2	2	E	英語の講義を実施し同じ教室で日本語でのサポートも行う
		ヒューマンロボットインタラクション	神田		2	2		
		Biosphere Informatics	○大手・小山・土居・西澤		2	2	E	(修士1年次配当) 日本語の講義を実施し同じ教室で英語でのサポートも行う
		防災情報特論	○矢守・畑山・大西・廣井	2		2		
		危機管理特論	○畑山・多々納・Samaddar・廣井		2	2		
		医療情報学	黒田(知)		2	2		
		ビジネス情報論	木下		2	2		
		情報教育特論	○緒方・Flanagan・Majumdar		2	2		
		分散システム	首藤		2	2	E	受講生に応じて日本語あるいは英語の講義を行い 両言語によるサポートを行う
		暗号と情報社会	○阿部・Tibouchi・神田・谷			2	集中講義	
		ユーザーエクスペリエンス	山下			2	E	集中講義 日本語講義、英語講義を 同じ教室で実施する
		サービスモデリング論	嶋田		2	2		
		問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)1	プログラム担当教員			1	前期集中	
		問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)2	プログラム担当教員			1	後期集中	

補足:○が付いている教員は科目責任者である。

以下のデザイン学科目、医療データ取扱専門家育成コース(KUEP-DHI)科目、プラットフォーム学科目において、※の付された授業科目については、指導教員の承認があれば社会情報学コースの学生の研究科修了に必要な単位として算入できる

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
インフォメーションデザイン論※	○伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
情報通信技術のデザイン※	○佐藤(高)・神田		2	2	通信情報システム専攻開設科目 (デザイン学領域科目)	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1※	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2※	プログラム担当教員			1	後期集中	

医療データ取扱専門家育成コース(KUEP-DHI)科目 (他研究科開設科目)

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
医療データ分析学※	○黒田・森田・山田			2	前期集中	KUEP-DHI必修科目
医療情報法制度学※	○黒田・曾我部・森・山本		2	2	KUEP-DHI必修科目	
医療情報学実習※	○黒田・森・山本		2	2	KUEP-DHI必修科目	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考
		前	後		
プラットフォーム学セミナー※	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。

社会情報学専攻開設科目を未修得の場合は、社会情報学コース開設の当該科目を履修すること。

令和2年10月以前の入学者は、情報システム設計論をコース基礎科目(必修科目)と見なし、修了に必要なコース基礎科目の単位数を8単位とする。情報システム設計論未履修者はMultiagent Systemsを履修すること。

情報システム設計論を既修得の場合は、科目内容の重複があるためMultiagent Systemsは増加単位(修了に必要な単位としてカウントされない)となるので注意すること。

先端数理科学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備 考
研究指導科目	必修	8	数理科学特殊研究Ⅰ、同Ⅱ
研究科共通科目	選択必修	2以上4以下	下表(科目表)の研究科共通科目中◎科目のみ
自コース開設科目	選択	8以上	
合計		30以上	

(注1) 修了に関わるコース外の科目については、コースの定めるところにより、各自の指導教員が認めたものに限る。

(注2) セミナー科目の履修は、コースの院生でコース会議で認められた者に限る。

(注3) 情報学研究科が開設するその他の科目、デザイン学科目および◎印以外の研究科共通科目を履修しても、修了に必要な単位としては認めない。2020年度以前に入学した者には、既修得の「計算科学入門」と「計算科学演習A」は、修了に必要な単位として算入する。

		授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考		
				前	後				
研究指導科目		数理科学特殊研究Ⅰ	指導教員			2	必修・通年(修士1年次配当)		
		数理科学特殊研究Ⅱ	指導教員			6	必修・通年(修士2年次配当)		
研究科共通科目	研究科共通 展 望 科 目	◎情報学展望1	○岡部・小谷	2		2		選択必修・ 2単位以上 4単位以下	
		◎情報学展望2	○河原 他	2		2			
		◎情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	E		
		◎情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	E		
		◎情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・ Douglas・Rafik		2	2	E		
	研究科共通 科 目	◎プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2			
		計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎 本	2		2			
		計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1			
		◎情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2			
		イノベーションと情報	前川(佳)	2		2			
		情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	前期・後期同内容		
		情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2			
		情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	前期・後期同内容		
		情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1			
		情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E	実習45時間	
		情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E	実習45時間	
コース開設科目	コース基礎 科 目	○応用解析学通論A	久保	2		2	奇数年度開講		
		□応用解析学通論B	久保	2		2	偶数年度開講		
		○非線形物理学通論A	青柳・○寺前・宮崎	2		2	奇数年度開講		
		□非線形物理学通論B	青柳・寺前・○宮崎	2		2	偶数年度開講		
		○応用数理学通論A	○田口・辻	2		2	奇数年度開講		
		□応用数理学通論B	吉川	2		2	偶数年度開講		

コース開設科目	コース専門科目	○微分方程式特論A	藤原		2	2	奇数年度開講
		□微分方程式特論B	藤原		2	2	偶数年度開講
		○非線型解析特論A	木上・○白石		2	2	奇数年度開講
		□非線型解析特論B	○木上・白石		2	2	偶数年度開講
		応用解析学特論Ⅰ	藤原		1	1	E 開講日注意
		応用解析学特論Ⅱ	○木上・白石		1	1	開講日注意
		○非線形力学特論A	筒		2	2	奇数年度開講
		□非線形力学特論B	寺前		2	2	偶数年度開講
		○非平衡物理学特論A	宮崎		2	2	奇数年度開講
		□非平衡物理学特論B	青柳		2	2	偶数年度開講
		非線形物理学特論Ⅰ	唐木田			1	集中講義
		非線形物理学特論Ⅱ	原田(健)		2	1	開講日注意
		○計算力学特論A	○吉川・新納		2	2	奇数年度開講
		□計算力学特論B	○吉川・新納		2	2	偶数年度開講
		○数理科学特論A	田口・○辻		2	2	奇数年度開講
		□数理科学特論B	○田口・辻		2	2	偶数年度開講
		応用数理学特論Ⅰ	田口・○辻		1	1	開講日注意
		応用数理学特論Ⅱ	吉川・○新納		1	1	開講日注意
	セミナー科目	応用解析学セミナーⅠ	木上・藤原・白石・久保・川越	(2)	(2)	4	通年(修士1年次配当)
		応用解析学セミナーⅡ	木上・藤原・白石			4	通年(修士2年次配当)
		非線形物理学セミナーⅠ	○青柳・寺前・宮崎・筒・原田(健)	(2)	(2)	4	通年(修士1年次配当)
		非線形物理学セミナーⅡ	○青柳・寺前			4	通年(修士2年次配当)
		応用数理学セミナーⅠ	○田口・吉川・辻・新納	(2)	(2)	4	通年(修士1年次配当)
		応用数理学セミナーⅡ	○田口・吉川・辻			4	通年(修士2年次配当)

補足: セミナー科目のⅡは随時開講され、年間60時間を行う。開講時期等については、担当者と相談すること。
○が付いている教員は科目責任者である。

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	
		前	後		
プラットフォーム学セミナー	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

補足: 修了要件への算入については、「自コース開設科目」以外の科目として扱う。

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。
先端数理科学専攻開設科目を未修得の場合は、先端数理科学コース開設の当該科目を履修すること。

数理工学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備考
研究指導科目	必修	10	数理工学特別研究1、同2
研究科共通展望科目	選択必修	2	
自コース開設科目 (研究科共通科目「計算科学入門」及び他コース開設の推奨科目を含む)	選択	12以上	コース開設科目及び研究科共通科目「計算科学入門」を計8単位以上含むこと
合計		30以上	

（注1） 本欄で指定しない他コース開設科目、他研究科開設科目及び大学院共通・横断教育開講科目、ならびに本欄にある研究科共通科目（研究科共通展望科目と「計算科学入門」を除く）、デザイン学科目のうち※が付された科目については、指導教員の承認があれば6単位までに限り修了に必要な単位として認定される。

（注2） 下記の表でEと表記されている授業科目は英語だけでも履修できる。

（注3） セミナー科目の履修は、専攻内院生でコース会議で認められたものに限る。

		授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
				前	後			
研究指導科目		数理工学特別研究1	指導教員			5	E 必修・通年(修士1年次配当)	
		数理工学特別研究2	指導教員			5	E 必修・通年(修士2年次配当)	
研究科共通科目	研究科共通展望科目	情報学展望1	○岡部・小谷	2		2		選択必修2単位
		情報学展望2	○河原 他	2		2		
		情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	E	
		情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	E	
		情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・Douglas・Rafik		2	2	E	
		プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2		
		計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2		
		計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1		
		情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2		
		イノベーションと情報	前川(佳)	2		2		
		情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	前期・後期同内容	
		情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2		
		情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	前期・後期同内容	
		情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1		
		情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E 実習45時間	
		情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E 実習45時間	

コース開設科目	コース基礎科目	計画数学通論	○福田・原口		2	<u>2</u>	8単位以上	12単位以上
		数理物理学通論	柴山		2	<u>2</u>		
		システム解析通論	○加嶋・辻本		2	<u>2</u>		
	コース専門科目	数理解析特論	辻本		2	<u>2</u>		
		離散数理特論	原口		2	<u>2</u>		
		制御システム特論	加嶋		2	<u>2</u>		
		最適化数理特論	山下	2		<u>2</u>		
		物理統計学特論	梅野	2		<u>2</u>		
		力学系理論特論	矢ヶ崎	2		<u>2</u>		
		数理ファイナンス通論	梅野		2	2		
		金融工学	○野崎・瀬古			1	集中講義	
		応用数理工学特論A	黒田(正)			1	集中講義	
		応用数理工学特論B	○野中・高橋			1	集中講義	
	セミナー科目	数理解析セミナー	辻本	2		<u>2</u>		
		離散数理セミナー	原口		2	<u>2</u>		
		最適化数理セミナー	山下	2		<u>2</u>		
		制御システム論セミナー	加嶋		2	<u>2</u>		
		物理統計学セミナー	梅野	2		<u>2</u>		
		力学系数理セミナー	矢ヶ崎		2	<u>2</u>		
	他コース開設の推奨科目	(知)パターン認識特論	○河原・西野・延原・吉井	2		<u>2</u>	E	
		(先端)応用解析学通論A	久保	2		<u>2</u>	奇数年度開講	
		(先端)応用解析学通論B	久保	2		<u>2</u>	偶数年度開講	
		(先端)非線形物理学通論A	青柳・○寺前・宮崎	2		<u>2</u>	奇数年度開講	
		(先端)非線形物理学通論B	青柳・寺前・○宮崎	2		<u>2</u>	偶数年度開講	
		(シス)学習機械論	森本		2	<u>2</u>		
		(通)スーパーコンピューティング特論	深沢		2	<u>2</u>		
		(通)離散アルゴリズム理論	○湊・川原	2		<u>2</u>		
		(通)並列計算機アーキテクチャ	高木	2		2		
		(通)情報通信技術のデザイン	○佐藤(高)・神田		2	2	通常講義と集中講義の併用	
		(データ)統計的システム論	○下平・本多	2		<u>2</u>		
		(データ)情報論的システム論	○田中・小渕	2		<u>2</u>		

補足:○が付いている教員は科目責任者である。()内は、開設コースの略称

※が付された科目については、指導教員の承認があれば数理工学コースの学生の研究科修了に必要な単位として算入できる。

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
インフォメーションデザイン論※	○伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2	プログラム担当教員			1	後期集中	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	
		前	後		
プラットフォーム学セミナー	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。
数理工学専攻開設科目を未修得の場合は、数理工学コース開設の当該科目を履修すること。

システム科学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備考
研究指導科目	必修	10	システム科学特殊研究1、同2
研究科共通展望科目	選択必修	2	
自コース開設科目	選択	8以上	
合計		30以上	

(注1) 他コース、他研究科開設科目、大学院共通・横断教育開講科目、本欄にあるデザイン学科目およびプラットフォーム学科目については、指導教員の承認があれば6単位までに限り修了に必要な単位として認定される。履修に当たっては指導教員と相談をすること。

(注2) 下記の表でEと表記されている授業科目は英語だけでも履修できる。

(注3) 他コース開設の推奨科目を履修した場合、自コース開設科目を履修したとみなす。

	授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考
			前	後		
研究指導科目	システム科学特殊研究1	指導教員			5	E 必修・通年(修士1年次配当)
	システム科学特殊研究2	指導教員			5	E 必修・通年(修士2年次配当)
研究科共通展望科目	情報学展望1	○岡部・小谷	2		2	選択必修2単位
	情報学展望2	○河原 他	2		2	
	情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	
	情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	
	情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・Douglas・Rafik		2	2	
研究科共通科目	プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2	
	計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2	
	計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1	
	情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2	
	イノベーションと情報	前川(佳)	2		2	
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	前期・後期同内容
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2	
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	前期・後期同内容
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1	
	情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E 実習45時間
	情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E 実習45時間

コース開設科目	コース基礎科目	システム科学通論Ⅰ	全員	2		2	
	コース専門科目	システム科学通論Ⅱ	全員		2	2	科目名変更(旧・システム科学通論)
		機械システム制御論	東	2		2	
		ヒューマン・マシンシステム論	西原		2	2	
		統合動的システム論	○大塚・櫻間		2	2	
		学習機械論	森本		2	2	
		論理生命学	○石井・島崎	2		2	
		医用システム論		2		2	本年度開講せず
		複雑システムのモデル化と問題解決	加納		2	2	
		計算神経科学	○石井・川人・銅谷・島崎・磯村・Kang			1	集中講義
		計算知能システム論	○田中・上田(修)			1	集中講義
		システム生物学	石井			2	本年度開講せず
		他コース開設の推奨科目	(データ)情報論的システム論	○田中・小淵	2		2
(データ)統計的システム論	○下平・本多		2		2		

補足:○が付いている教員は科目責任者である。システム科学通論Ⅰ・Ⅱの科目責任者は専攻長である。

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
インフォメーションデザイン論	○伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通 実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2	プログラム担当教員			1	後期集中	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	
		前	後		
プラットフォーム学セミナー	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。
 システム科学専攻科目を未修得の場合は、システム科学コース開設の当該科目を履修すること。
 令和5年度より通信情報システムコース開設科目の「スーパーコンピューティング特論」及びデータ科学コース開設科目の「情報論的システム論」、「統計的システム論」はシステム科学専攻開設科目として履修できる。

通信情報システムコース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備 考
研究指導科目	必修	10	通信情報システム特別研究1、同2
研究科共通展望科目	選択必修	2以上 4以下	
自コース開設科目(他コース開設の推奨科目を含む)	選択	12以上	
合計		30以上	

(注1) 下記の表でEと表記されている授業科目は英語だけでも履修できる。同一内容の日本語名の授業科目がある場合には、英語授業科目または日本語授業科目のいずれか一方のみ単位認定される。

(注2) 本欄で指定しない研究科共通科目、他コース開設科目、他研究科開設科目、及び大学院共通・横断教育開講科目ならびに本欄にあるデザイン学科目、プラットフォーム学科目については、指導教員の承認があれば6単位までに限り修了に必要な単位として認定される。

	授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考
			前	後		
研究指導科目	通信情報システム特別研究1	指導教員			5	E 必修・通年(修士1年次配当)
	通信情報システム特別研究2	指導教員			5	E 必修・通年(修士2年次配当)
研究科共通展望科目	情報学展望1	○岡部・小谷	2		2	選択必修・2単位以上4単位以下
	情報学展望2	○河原 他	2		2	
	情報学展望3	Maestre Torreblanca	2		2	
	情報学展望4	外国人客員教員(未定)		2	2	
	情報学展望5	○河原・Chu・Jansson・Even・Douglas・Rafik		2	2	
	プラットフォーム学展望	○原田(博)・プログラム担当教員		2	2	前期・後期同内容
	計算科学入門	○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2	
	計算科学演習A	佐藤(寛)	1		1	
	情報と知財	○田島・谷川・宮脇		2	2	
	イノベーションと情報	前川(佳)	2		2	前期・後期同内容
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	
	情報分析・管理論	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2	
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	
	情報分析・管理演習	○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1	
	情報学による社会貢献	研究科長			(1)	E 実習45時間
	情報学におけるインターンシップ	研究科長			(1)	E 実習45時間
コース開設科目	離散アルゴリズム理論	○湊・川原	2		2	
	アルゴリズムと情報学入門	Jansson	2		2	E
	デジタル通信工学	○原田(博)・水谷	2		2	
	情報ネットワーク	○大木・佐藤(文)	2		2	
	集積回路工学特論	橋本	2		2	

コース開設科目	コース専門科目	情報通信技術のデザイン	○佐藤(高)・神田		2	2	通常講義と集中講義の併用
		計算量理論	Jansson・○湊・川原		2	2	E
		並列計算機アーキテクチャ	高木	2		2	
		ハードウェアアルゴリズム	高木		2	2	
		システム検証論	○末永・五十嵐・和賀		2	2	E
		プログラム意味論	○五十嵐・末永	2		2	
		伝送メディア工学特論	山本(高)			2	集中講義
		応用集積システム	○佐藤(高)・栗野	2		2	
		集積システム設計論	○佐藤(高)・栗野・新津		2	2	E
		大気環境光電波計測	○橋口・山本(衛)・西村・横山		2	2	E
		リモートセンシング工学	○山本(衛)・橋口・横山・西村		2	2	
		コンピュータネットワーク特論	岡部		2	2	科目名変更(旧・マルチメディア通信)
		スーパーコンピューティング特論	深沢		2	2	
他コース開設の推奨科目		(知)言語情報処理特論	黒橋・森(信)・○村脇	2		2	E
		(社)Biosphere Informatics	○大手・小山・土居・西澤		2	2	E
		(社)暗号と情報社会	○阿部・Tibouchi・神田・谷			2	集中講義

補足:○が付いている教員は科目責任者である。()内は、開設コースの略称

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
インフォメーションデザイン論	○伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通 実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2	プログラム担当教員			1	後期集中	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	
		前	後		
プラットフォーム学セミナー	○原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

★令和4年10月以前の入学者★

専攻の修了要件は、入学時点のものである。

通信情報システム専攻開設科目を未修得の場合は、通信情報システムコース開設の当該科目を履修すること。

令和5年度より通信情報システムコース開設科目の「コンピュータネットワーク特論」と「スーパーコンピューティング特論」は通信情報システム専攻開設科目として履修できない。

データ科学コース

修了に必要な単位数

科目区分	履修区分	単位数	備考
研究指導科目	必修	10	データ科学特殊研究1, 同2
研究科共通展望科目	選択必修	2以上4以下	
コース開設科目および他コース開設の推奨科目	必修	2	データ科学セミナー★
	選択必修	8以上	下の科目表において☆が付された科目から選択
	選択		下の科目表の科目から選択
合計		30以上	

(注1) 下にあるプラットフォーム学科目, および下の科目表で指定しない研究科開設科目、他研究科開設科目、大学院共通・横断教育開講科目については、指導教員の承認があれば6単位までに限り修了に必要な単位として認定される。

(注2) 下の表でEと表記されている科目は英語だけでも履修できる。

		授業科目名		担当教員	毎週時数		単位	備考
					前	後		
研究指導科目		データ科学特殊研究1		指導教員			5	E 必修・通年(修士1年次配当)
		データ科学特殊研究2		指導教員			5	E 必修・通年(修士2年次配当)
研究科共通科目	研究科共通展望科目	情報学展望1		○岡部・小谷	2		2	選択必修・2単位以上4単位以下
		情報学展望2		○河原 他	2		2	
		情報学展望3		Maestre Torreblanca	2		2	
		情報学展望4		外国人客員教員(未定)		2	2	
		情報学展望5		○河原・Chu・Jansson・Even・Douglas・Rafik		2	2	
	研究科共通科目	プラットフォーム学展望		○原田(博)・プログラム担当教員		2	2	
		計算科学入門		○山下・佐藤(寛)・牛島・藤原・榎本	2		2	
		計算科学演習A		佐藤(寛)	1		1	
		情報と知財		○田島・谷川・宮脇		2	2	
		イノベーションと情報		前川(佳)	2		2	
		情報分析・管理論		○山本(章)・増田・ユニット担当教員	2		2	
		情報分析・管理論		○山本(章)・増田・ユニット担当教員		2	2	
		情報分析・管理演習		○山本(章)・増田・ユニット担当教員	1		1	
		情報分析・管理演習		○山本(章)・増田・ユニット担当教員		1	1	
		情報学による社会貢献		研究科長			(1)	E
		情報学におけるインターンシップ		研究科長			(1)	E
コース開設科目	コース基礎科目	統計科学基礎論	☆	原	2		2	
		デジタル変容実践論	☆	田村(寛)			1	集中講義
		データの二次利用実践論	☆	田村(寛)			1	集中講義
	コース専門科目	データ科学セミナー	★	全員		2	2	
		統計的信号処理論	☆	林(和)		2	2	
		計算論的学習理論	☆	山本(章)		2	2	E
		統計的学習理論	☆	○鹿島・山田	2		2	E
		情報論的システム論	☆	○田中・小渕	2		2	
		統計的システム論	☆	○下平・本多	2		2	

他 コ ー ス 開 設 の 推 奨 科 目	基 礎 科 目	(知)情報科学基礎論		山本(章)・ [○] 鹿島・河原・西野・中村・森(信)	2		2	
		(知)生命情報学基礎論		[○] 阿久津・田村・細川・前川(真)・森(智)	2		2	
		(社)情報社会論		[○] 大手・神田・伊藤・Even	2		2	E
		(社)Information System Analysis		[○] 神田・大手・松井・山内・馬・Brscic・Seo・小山・西澤	2		2	E
		(数)計画数学通論		[○] 福田・原口		2	2	
		(数)システム解析通論		[○] 加嶋・辻本		2	2	
	専 門 科 目	(知)パターン認識特論	☆	[○] 河原・西野・延原・吉井	2		2	E
		(数)最適化数理特論	☆	山下	2		2	
		(シス)計算知能システム論	☆	[○] 田中・上田(修)			1	集中講義
		(知)計算論的認知神経科学		中原・佐藤(弥)・ [○] 熊田	2		2	
		(知)音声情報処理特論		[○] 河原・加藤(宏)・吉井		2	2	E
		(知)言語情報処理特論		黒橋・森(信)・ [○] 村脇	2		2	E
		(知)コンピュータビジョン		[○] 西野・延原・Kastnar	2		2	E
		(知)生命情報学特論		[○] 阿久津・田村(武)・森(智)		2	2	
		(社)Biosphere Informatics		[○] 大手・小山・土居・西澤		2	2	E
		(社)医療情報学		黒田(知)		2	2	
		(社)ビジネス情報論		木下		2	2	
		(社)情報教育特論		[○] 緒方・Flanagan・Majumdar		2	2	
		(先端)非線形力学特論B		寺前		2	2	偶数年度開講
		(先端)非線形物理学特論I		唐木田			1	集中講義
		(数)離散数理特論		原口		2	2	
		(数)金融工学		[○] 野崎・瀬古			1	集中講義
		(シス)統合動的システム論		[○] 大塚・櫻間		2	2	
		(シス)論理生命学		[○] 石井・島崎	2		2	
		(シス)複雑システムのモデル化と問題解決		加納		2	2	
		(シス)計算神経科学		[○] 石井・川人・銅谷・島崎・磯村・Kang			1	集中講義
		(通)離散アルゴリズム理論		[○] 湊・川原	2		2	
		(通)スーパーコンピューティング特論		深沢		2	2	
		(通)リモートセンシング工学		[○] 山本(衛)・橋口・横山・西村		2	2	

補足: ○が付いている教員は科目責任者である。

デザイン学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	備考	
		前	後			
インフォメーションデザイン論	[○] 伊藤・中村	2		2	デザイン学共通科目	
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 1	プログラム担当教員			1	前期集中	デザイン学共通実習科目
問題発見型/解決型学習(FBL/PBL) 2	プログラム担当教員			1	後期集中	

プラットフォーム学科目

授業科目名	担当教員	毎週時数		単位	
		前	後		
プラットフォーム学セミナー	[○] 原田(博)・プログラム担当教員	2		2	

本研究科における学業成績の評語基準及び評価について

(平成3年9月10日研究科会議決定)

(令和5年1月12日研究科会議決定)

本研究科における評語基準は次表のとおりとし、学業成績は評語をもって表す。

(4段階評価)

評 語	点数（100点満点）	適 用 基 準	
優	80～100	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。
良	70～79		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。
可	60～69		学修の効果が認められる。
不 可	0～59	合格基準に達していない。	不合格。

(2段階評価)

評 語	適 用 基 準
合 格	合格基準に達している。
不合格	合格基準に達していない。

附 則

この申合せは、平成3年9月10日から実施する。

附 則

この申合せは、平成19年4月1日から実施する。

附 則

この申合せは、令和2年4月1日から実施する。

附 則

この申合せは、令和5年4月1日から実施する。

情報学研究科成績評価規程

(平成10年4月23日制定)

(平成13年7月13日一部改正)

(平成18年3月10日一部改正)

(平成18年3月10日題名改称)

(平成18年11月17日一部改正)

(平成23年4月1日一部改正)

(平成23年4月1日題名改称)

(平成28年1月15日一部改正)

(平成30年12月14日一部改正)

(令和元年11月8日一部改正)

(令和5年3月10日一部改正)

(趣旨)

第1条 この規程は、京都大学大学院情報学研究科（以下、「研究科」という。）における学生等の成績評価及び研究科規程第10条に定める試験の実施及び成績評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

2 前項にいう試験は筆答試験のほか、口頭、レポートによるもの及び平常点等並びにそれらの組合せによるものを指す。

3 成績評価は試験の結果に基づき、当該科目の到達目標及び学修の効果等を斟酌のうえ、原則として授業の担当教員が行う。

(授業内容及び成績評価方法等の周知)

第2条 研究科の授業科目には科目責任者を置き、研究指導科目以外については授業担当者をもって科目責任者に充てる。ただし、授業担当者が複数の場合には、授業担当者の中の1名を科目責任者とする。また、研究指導科目については、履修者毎に、その指導教員をもって科目責任者とする。

2 研究科長は授業科目（研究指導科目及び博士後期課程の科目を除く。）の科目責任者を、シラバス及び研究科の学修要覧等（以下、「学修要覧等」という。）により研究科内に周知する。

第3条 授業科目（研究指導科目を除く。）の科目責任者は、当該科目の授業目的及び成績評価方法の概要等を学修要覧等によって履修者に周知しなければならない。

2 授業科目（研究指導科目を除く。）の科目責任者等は、授業目的、到達目標、授業計画及び成績評価方法・基準等の具体的な内容を、原則として、シラバスにより履修者に周知しなければならない。また、シラバスによらない場合は、授業時等の説明により履修者に周知するものとする。

3 授業の進捗状況等により前2項で周知した事項を変更する場合は、授業科目の科目責任者等は授業時等に履修者に対してその変更を説明しなくてはならない。

第4条 研究指導科目及び博士後期課程の科目の到達目標、成績評価基準及び授業計画等

の周知については、関係するコースが定める。

第5条 修士論文及び博士論文（以下、「研究論文」という。）の審査については、別の定めによる。

（試験期日）

第6条 授業科目（研究指導科目及び博士後期課程の科目を除く。）の定期試験は、原則として15週の授業終了後、研究科の定める前期及び後期の所定期間内に行う。

2 定期試験以外の試験の実施は、シラバス等による事前の周知に従い、科目責任者が適宜行う。

3 通年の科目については、前期の定期試験を省略することができる。

（成績等）

第7条 成績評価は、次のいずれかにより行う。

(1) 別表1の適用基準に基づき「A+」、「A」、「B」、「C」、「D」、「F」の評語による。

(2) 別表2の換算及び別表1の適用基準に基づく評点による。

2 第1項の定めにかかわらず、教務委員会の審議を経て研究科長が指定した科目の成績評価は、「合格」又は「不合格」により行う。

3 成績証明書を交付する場合は、第1項第1号又は第2項に定める表示によるものとし、不合格科目は表示しない。

4 研究論文の審査及び試験の評価は、「合格」又は「不合格」により行う。

第8条 科目責任者は、研究科長の定める期日までに、前条の規定による成績評価を研究科長に報告しなければならない。なお、不合格についても、報告に含めるものとする。

2 前項で研究科長の定める期日までに報告されなかった成績評価は、原則として、次の学期以降に処理するものとする。

3 第1項により報告された成績評価は、科目責任者等の採点等の事務上のミスがあった場合を除き、修正することはできない。

第9条 授業科目の成績評価は、原則として、学期の終りまでに履修者に通知する。

（不正行為）

第10条 受験に際して不正行為があった場合は、当該学期の授業科目（研究指導科目と通年科目を除く。）の履修を無効とする。

2 前項の不正行為は、筆答試験時のカンニングのほか、レポート試験における剽窃やデータ捏造等、成績評価における不適切な行為のすべてを指す。

3 試験において不正行為があった場合、当該科目の科目責任者は直ちにその旨を研究科長に報告しなくてはならない。

（成績評価に対する異議申し立て）

第11条 学生は、授業科目（研究指導科目及び博士後期課程の科目を除く。）の成績評価について、次の各号に該当すると思われる場合は、研究科長の定める期間に異議申し立てを行うことができる。

(1) 成績の誤記入等、明らかに授業担当者等の誤りと思われるもの。

(2) シラバス又は授業時等における説明等により学生へ周知された内容とは著しく異なる基準又は方法で成績評価が行われたと思われるもの。

2 前項で定める異議申し立ては、研究科長が別に定める方法により研究科の教務掛を通して行うこととする。なお、科目責任者及び授業担当教員等に直接異議申し立てを行うこと及び、成績評価の理由や根拠等に対する照会や異議申し立ては認めないものとする。

3 研究指導科目及び博士後期課程の科目の成績評価に対する異議の申し立てについては、原則として学生の所属するコースの長に対して行うものとし、当該コース長が適切に対応する。

(その他)

第12条 合格した授業科目は、当該科目責任者の事前の許可がない場合は、再履修することができない。

2 同一科目に2度以上合格した場合の成績評価の扱いは、履修者の所属するコースの定めによる。

第13条 追試験は、原則として行わない。ただし、次の各号の一に該当する場合で、当該授業科目責任者が認めたときは、該当科目の追試験を行うことがある。

(1) 病気、事故による場合。ただし、証明書等が提出できるものに限る。

(2) 災害等により、登校が不可能な場合。

(3) 履修者のやむを得ない事由で、研究科長が認めた場合。

(4) 特段の事情により、研究科長が命じた場合。

第14条 授業科目の開講期間中に休学した場合は、原則として、当該科目の成績評価は行わない。

2 当該学期中の休学期間以外の期間に、単位認定に必要な時間数の授業が行われた場合には、当該科目の成績評価を行うことができる。

3 通年科目については、休学期間以外の期間に単位認定に必要な授業時間数の授業が行われた場合には、当該科目の成績評価を行うことができる。

第15条 修了予定者（在学期間を短縮して修士の学位を受けようとする者を含む。）については、研究論文の審査及び試験が合格になった時点で必要な研究指導は終了していると見なし、特段の事情がない限り、研究指導科目の単位又は研究指導を認定する。

2 前項において特段の事情により研究指導科目の単位認定を留保した場合は、翌学期以降は科目責任者の判断により随時単位認定を行うことができる。

第16条 他研究科等の授業科目の試験及び成績評価等に関しては、当該科目を開講する研究科等の定めるところによる。

第17条 研究科会議は授業科目（研究指導科目を除く。）の成績評価及び単位認定等が本規程及びシラバス等で学生に周知された事項に沿って適切に行われていることを、年度毎に、確認しなければならない。

2 コース専門科目及び履修者が25名以下のコース基礎科目については、研究科会議

は前項の確認を関係コース長に委任する。

- 3 第1項の確認において不適切と判断される科目があったときは、研究科長はその改善に係る議論を教務委員会に付託する。

第18条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、研究科会議の議を経て研究科長が定める。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和4年10月以前に入学した学生に対しては、規程中のコースは所属する専攻に読み替える。

別表1

評語	適用基準	
A+	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ、傑出した成績である。／Outstanding
A		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。／Excellent
B		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。／Good
C		学修の効果が認められる。／Fair
D		最低限の学修の効果が認められる。／Pass
F	合格基準に達していない。	不合格。／Fail

別表2

素点	評語
96～100	A+
85～95	A
75～84	B
65～74	C
60～64	D
0～59	F

